

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人吹上苑

令和5年度 事業報告書 目次

はじめに ー事業の経過ー	1
1 法人が実施する事業及び根拠法令	2
2 法人関係会議 開催状況	3
3 事業別利用状況	6
4 保険者の状況	7
5 利用者の男女別年齢構成	8
6 入所申請件数	10
7 施設見学 事前面接 件数	11
8 入退所・入所経路の状況	12
9 面会者数	13
各課報告	
10 介護課	14
11 看護課	15
(1)苑内診察等の実施内容	
(2)月別受診実績	
(3)入院・退院の状況	
(4)入院期間調書	
(5)入院者数及び入院日数等の推移	
12 リハビリ課	18
13 栄養課	20
(1)食事懇談会	
(2)年間栄養摂取量	
(3)行事食の実施状況	
14 生活相談室	26
(1)ケアカンファレンスの取り組み	
(2)入居者懇談会	
15 ボランティア・地域貢献担当活動報告	29
16 委員会・会議報告	
16-1 連絡調整会議	36
16-2 衛生委員会	38
16-3 安全衛生委員会	40
16-4 褥瘡予防委員会	42
16-5 入所検討委員会	44
16-6 事故苦情対策委員会	46

	(1)月別事故分析	
	(2)事故(ヒヤリハットを含む)内容別年度比較	
	(3)事故発生分析と予防対策	
	(4)時間別事故パターン分析	
16-7	身体拘束廃止・虐待防止委員会・見守り機器等活用委員会	54
16-8	サービスマナー委員会	56
16-9	研修委員会	57
16-10	食事委員会	60
16-11	広報委員会	61
16-12	排泄委員会	62
16-13	マニュアル策定委員会	63
16-14	行事委員会	65
16-15	入浴委員会	69
16-16	口腔ケア委員会	71
16-17	感染症対策委員会	72
	令和5年12月に発生したインフルエンザクラスターのまとめ	
16-18	防災委員会	79
16-19	IT委員会	79
16-20	業務改善推進チーム	80
16-21	介護会議	82
16-22	介護課フロア会議	85
16-23	厨房会議	90
16-24	リハビリ会議	90
17	クラブ・レクリエーション活動報告	
17-1	料理クラブ	91
16-2	フロア装飾	91
17-3	華道クラブ	92
17-4	ボッチャクラブ	95
17-5	えがおクラブ	97
16-7	ホーム喫茶	99

はじめに 一事業の経過一

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の5類感染症に移行後も高齢のご利用者が集団生活する介護施設においては緊張が継続したままの1年となりました。そのような中、年末年始にかけご利用者20名、職員7名が感染するインフルエンザクラスターが発生しています。新型コロナウイルスほどの感染力ではなかったもののご利用者皆様には制限のかかる生活となり、職員は高い緊張感の中、感染拡大防止のためのケアに努めていただきました。

令和5年度の財務管理においては、物価高騰が続く中、給食材料費・おむつ代・水道光熱費などを抑制しながら事業費、事務費のコストカットを行いました。人件費支出の割合は大きく変動なく76.5%となりました。東京都高齢者福祉施設協議会が2023年に実施した調査のうち、同規模施設の人件費平均は67.2%であるため人件費抑制は長期的な事業運営の中で大きな課題であると認識しています。人件費の高騰を抑制するため、今年度6月より株式会社日本経営の支援を受け、給与規定の更新および人事評価制度を新設するに至り、令和6年度より運用となります。職員の能力や行動が評価できるよう等級制度を見直し、あらためて「法人理念の浸透」と「ケアの質向上」を図るため戦略設定を行いました。法人全体でのサービス活動増減差額（営業利益）は635万のマイナスとなりましたが、これは日本経営への業務委託費増加と、コロナ対応に係る補助金収益が減少したことが原因として挙げられます。令和6年度以降は介護報酬改定に伴う基本報酬の増収および食費・居住費の値上げにより安定した黒字運営を目指します。資金収支計算書においては、施設整備積立金を1,400万円取り崩したことにより当期支払資金残高が800万円増加、現金預金は2600万円増加しています。

ベッド稼働率をみると96.4%の稼働となり前年比1.1%の上昇となりました。またコロナウイルス感染に伴う入院が昨年度から引き続いており、年間延べ日数は1473日と昨年比61%増となっております。入院者数の減少および稼働率の安定化は今後の課題となります。

施設整備において、東京都の次世代介護機器導入支援事業補助金を活用し、ご利用者用ベッド42台を更新しています。やすらぎの家開設より25年間使用していたベッドが残存していましたが、今回の更新によりすべてのベッドが電動ベッドとなりました。ご利用者の生活の利便性向上とともに職員の身体的負担軽減にもつながる事業となりました。また、食事提供に使用している温冷配膳車について、耐用年数を大幅に超過し使用していたため、赤い羽根共同募金の助成金を活用し2台更新しています。

公益的活動の取組として、ボランティア・地域貢献担当が中心となり積極的に活動を行いました。新たに「やすらぎの家助け愛♡隊」を立ち上げ、ボランティア希望の地域住民に働きかけ、独居高齢者の困りごと解消に一役買っており、今後の活動拡大が期待されます。

1 法人が実施する事業及び根拠法令

(1) 当法人が実施する社会福祉事業区分における拠点区分と当該拠点区分におけるサービス区分及び根拠法令等の内容

① 特別養護老人ホームやすらぎの家拠点区分

社会福祉法(昭和26年法律第45号、以下「社会福祉法」という。)第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規程する特別養護老人ホームやすらぎの家を中心に以下のサービス区分を含む拠点区分としている。

イ 法人本部サービス区分

理事会の運営及び監事の業務活動による経費、法人役員の報酬等その他の拠点区分に属さない経費及び収益について区分経理するために本部サービス区分を設けている。

ロ 特別養護老人ホーム やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規定する特別養護老人ホーム

ハ 短期入所生活介護事業 やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第3項第4号(第2種社会福祉事業)に規定する老人短期入所事業〔介護保険法(平成9年法律第123号、以下「介護保険法」という)第8条第9項に規定する短期入所生活介護事業〕及びこれと一体的に行われている介護保険法第8条の2第7項に規定する介護予防サービス

2 法人関係会議 開催状況

令和5年度法人関係会議等の実施状況について監事監査1回、理事会4回、評議員会1回をいずれも招集により開催しました。

5月に実施しました決算前の監事監査では自己点検チェックリストに基づき監事2名による会計と運営部門についてチェックを行っていただきました。

理事会は定款に基づき4回開催しいずれも定款細則に基づき理事長業務執行状況報告を行い、また、定款と経理規定に基づく議案について各理事会で提案し、承認されました。

定時評議員会も本年度は招集にて行い、社会福祉法及び経理規定に基づく令和4年度計算書類、財産目録について提案が行われ、承認されました。

監事監査

実施日	実施回数	出席監事数 出席理事数	主な実施内容	備考
令和5年 5月25日	1回	監事 2名 理事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算書類について ・令和4年度理事の業務執行状況について ・自己点検チェックリストに基づく確認 ・令和4年度事業運営に対する指導、助言 ・監査報告書作成 	

理事会

令和5年 6月1日	第1回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用状況報告 ・令和4年度事業報告書報告書について ・令和4年度「決算報告」及び「監事監査報告」及び「社会福祉充実残額報告」について ・定時評議員会を招集するための議案の決議について ・評議員会に提案する役員候補者名簿の承認について ・評議員選任・解任委員会に提案する評議員候補者名簿について ・評議員選任・解任委員会の開催について 	承認 承認 承認 承認 承認
--------------	-----	--------------	---	----------------------------

令和5年 6月21日	第2回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会における理事・監事承認の報告 ・理事長選任の件 ・やすらぎの家施設長選任について ・評議員選任・解任委員の選任について ・苦情対応第三者委員の選任について ・人事制度構築業務委託等の件について 	承認 承認 承認 承認
令和5年 10月25日	第3回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長業務執行状況報告 ・人事構築業務等委託経過報告 ・東京都施設大規模修繕補助金申請について ・施設利用状況報告 ・ベッド購入に係る入札予定価格及び入札方法の決定について ・令和5年度資金収支予算書第1回補正予算について ・就業規則の一部改正について 	承認 承認 承認 承認 承認
令和6年 3月28日	第4回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長業務執行状況報告 ・青梅市法人監査実施報告 ・施設利用状況報告 ・令和5年度資金収支予算書第2回補正予算について ・定款細則の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・非常勤職員等の就業規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・運営管理規程の一部改正について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度収支予算書について 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

評議員選任解任委員会

開催日	開催回	出席者数	主な審議議案	備考
令和5年 6月1日	第1回	委員4名 理事3名	評議員候補者に係る提案書の同意について	承認

評議員会

開催日	開催回	出席評議員数	主 な 審 議 議 案	備考
令和5年 6月21日	第1回	評議員6名 理事3名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度計算書類及び財産目録の承認について ・理事6名、監事2名の選任について 	承認 承認

3 事業別利用状況

1. 特別養護老人ホームの利用状況〔定員：100床〕

令和6年3月31日現在

	月末現在 在籍者数	定員 100 名の 延人（日）数	実入所延人数 （利用延日数）	利 用 率（％）		入 院 の 状 況（人）			
				当月利用率	平均利用率	延人数	延日数	換算	通算平均人数
4月	98人	3,000/3,000	2,832/2,832	94.4%		4	109	3.6	
5月	99人	3,100/6,100	2,956/5,788	95.4%	94.9%	5	132	4.3	4.0
6月	101人	3,000/9,100	2,890/8,678	96.3%	95.4%	5	123	4.1	4.0
7月	100人	3,100/12,200	2,975/11,653	96.0%	95.5%	6	139	4.5	4.1
8月	100人	3,100/15,300	2,965/14,618	95.6%	95.5%	6	157	5.1	4.3
9月	101人	3,000/18,300	2,799/17,417	93.3%	95.1%	8	222	7.2	4.8
10月	99人	3,100/21,400	2,877/20,294	92.8%	94.8%	8	204	6.6	5.1
11月	100人	3,000/24,400	2,842/23,136	94.7%	94.8%	5	110	3.7	4.9
12月	99人	3,100/27,500	3,024/26,160	97.5%	95.1%	3	62	2.0	4.6
1月	99人	3,100/30,600	2,915/29,075	94.1%	95.0%	4	84	2.8	4.4
2月	98人	2,900/33,500	2,722/31,797	94.0%	94.9%	4	63	2.2	4.2
3月	100人	3,100/36,600	2,978/34,775	96.1%	95.0%	3	68	2.2	4.0
計			34,775人				1473		
平均値	98.8人		95.0人		95.0%				4.0
前年度 平均値	96.3人		93.6人		93.6%				2.5

2. ショートステイの利用状況〔空床3床〕

令和6年3月31日現在

	利 用 延入所数	定員 3 名の 延人（日）数	利用延人（日）数	利 用 率		施設全体平均利用人数 （特養＋ショート）
				当 月	通 算 平 均	
4月	5人	90/90	42/42	46.7%		95.8人
5月	5人	93/183	61/103	65.6%	56.2%	97.3人
6月	4人	90/273	30/133	33.3%	48.7%	97.3人
7月	4人	93/366	33/166	35.5%	45.4%	97.0人
8月	8人	93/459	50/216	53.7%	47.0%	97.2人
9月	6人	90/549	41/257	45.5%	46.8%	94.6人
10月	7人	93/642	44/301	47.0%	46.9%	94.6人
11月	5人	90/732	54/355	60.0%	48.4%	96.5人
12月	7人	93/825	67/422	72.0%	51.1%	99.6人
1月	4人	93/918	28/450	30.1%	49.0%	95.0人
2月	4人	84/1002	40/490	47.6%	48.9%	95.2人
3月	3人	93/1095	21/511	22.6%	46.7%	96.7人
計	62人	1095日	511人		46.7%	96.4人
前年度	83人		589人			

※ 年間1日平均利用者数（特養＋ショート）→ 96.4人（前年度平均：95.3人）

4 保険者の状況

令和6年3月末現在の保険者数は、下表のとおり23保険者となっています。

定員100名に対する月末の平均在籍者（入院者を含む）98.8名は、前年度実績の月平均96名と比較し在籍者数は上昇しています。

保険者別では青梅市の利用率が一番高い理由として地元であると同時にショートステイを利用しながら在宅でのケアを行い、徐々に認知症等の進行により、在宅ケアが困難となり入所となるケースが多いことが挙げられます。入所申し込みの傾向として近隣医療機関等からの紹介での申請が増え入所に繋がっています。

最近では女性待機者より男性待機者が増え、また胃瘻、透析、鼻腔栄養、在宅酸素、ストマといった医療依存度の高い方や若年性認知症の方、徘徊といった認知症状が強くみられ在宅生活困難者の入所希望者が増加しています。

受け入れ態勢についても、入所時のPCR検査の等を実施し、施設内での感染予防対策も継続して行っています。待機者が減少している中で、老健や医療機関、居宅支援事業所等との連携を図りながら入所者の受け入れをスムーズに行えるよう、待機者の動向を見ながら行っています。

単位：人 各月：月末現在

月 保険者名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月延人員	利用率	
青 梅 市	34	35	37	36	36	37	39	42	41	38	42	43	460	38.3	%
府 中 市	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132	11.0	%
調 布 市	12	12	12	12	12	12	11	11	11	10	10	10	135	11.3	%
国 立 市	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	90	7.5	%
羽 村 市	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	5	5	77	6.4	%
杉 並 区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
相 模 原 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
東 村 山 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	0.9	%
西 東 京 市	5	5	5	5	5	4	3	3	3	2	2	2	44	3.7	%
昭 島 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
立 川 市	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31	2.6	%
狛 江 市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
大 田 区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
武蔵村山市	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	1.3	%
福 生 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	%
台 東 区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%

小平市	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17	1.4	%
あきる野市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	%
小金井市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
瑞穂町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15	1.3	%
八王子市	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	1.8	%
品川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	%
飯能市	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18	1.5	%
武蔵野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11	0.9	%
奥多摩町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
世田谷区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
合計	98	99	101	100	100	100	98	100	99	94	98	98	1,185	98.8	%

5 利用者の男女別年齢構成

R6.3.31 現在

区 分	性 別		計
	女 性	男 性	
64 歳 以下	1 人	0 人	1 人
65 歳 ～ 69 歳	1 人	2 人	3 人
70 歳 ～ 74 歳	3 人	2 人	5 人
75 歳 ～ 79 歳	7 人	7 人	14 人
80 歳 ～ 84 歳	12 人	5 人	17 人
85 歳 ～ 89 歳	17 人	9 人	26 人
90 歳 ～ 94 歳	17 人	5 人	22 人
95 歳 ～ 99 歳	8 人	1 人	9 人
100 歳 以上	1 人	0 人	1 人
合 計	67 人	31 人	98 人

[参 考]

R6.3.31 現在

区分	性別		
	女 性	男 性	全 体
最高年齢	103 歳	97 歳	103 歳
最少年齢	53	67	53
平均年齢	87.0	83.3	85.1
前年度 平均	88.3	83.4	86.11

令和6年3月末日現在におけるご利用者の男女別年齢構成は、上記のとおりです。

平均年齢は、男性83.3歳に対し、女性は87.0歳となっています。例年に無く平均年齢は女性は1.3歳、男性は0.1歳引き下がっています。また、男女の平均年齢差は3.7と男女の年齢差は少しずつ縮まっています。

80歳以上のご利用者様は75名で全体に占める割合は73.5%、90歳以上は32名31.4%と昨年より下降しています。95歳以上では、男性のご利用者1名に対し女性利用者は9名となっております。毎年、少しずつ年齢は引き上がり高齢化が進んでおりましたが、今年度は男女共に少し引き下がり傾向となりました。

6 入所申請件数

月別 保険者	青梅市	府中市	調布市	国立市	羽村市	他市	計
4月	3	0	0	0	0	7	10
5月	2	1	0	0	0	3	6
6月	0	0	0	0	0	4	4
7月	1	1	0	0	0	1	3
8月	3	0	1	0	0	2	6
9月	4	0	0	0	0	2	6
10月	4	0	0	0	0	1	5
11月	5	0	0	0	0	1	6
12月	1	0	1	0	0	0	2
1月	1	0	0	0	0	3	4
2月	2	0	0	1	0	1	4
3月	4	0	0	0	0	5	9
令和5年度計	30	2	2	1	0	30	65
令和4年度計	20	3	9	1	3	66	102

7 施設見学 事前面接 件数

	施設見学	事前面接
4 月	3	2
5 月	3	2
6 月	3	2
7 月	1	1
8 月	3	4
9 月	2	4
10 月	3	3
11 月	4	2
12 月	4	1
1 月	7	2
2 月	6	2
3 月	5	0
計	44	25

8 入退所・入所経路の状況

R6.3.31 現在

区分 月	入 所 経 路			退 所 理 由			比較	月末の在籍者数		
	自宅等	病院等	計	死亡	長期入院等	計		男	女	計
4	1	2 老健 0	3	2	0	2	1	29	69	98
5	2	1 老健 0	3	1	1	2	1	30	69	99
6	1	0 老健 1	2	0	0	0	2	32	69	101
7	0	0 老健 0	0	0	1	1	▲1	31	69	100
8	1	0 老健 0	1	1	0	1	0	31	69	100
9	0	2 老健 0	2	1	1	2	0	31	69	100
10	0	3 老健 0	3	5	0	5	▲2	31	67	98
11	0	2 老健 1	3	1	0	1	2	31	69	100
12	0	1 老健 1	2	2	1	3	▲1	30	69	99
1	0	1 老健 0	1	6	0	6	▲5	29	65	94
2	2	1 老健 1	4	0	0	0	4	30	68	98
3	0	2 老健 0	2	2	0	2	0	31	67	98
計	7	15 老健 4	26	21	4	25	1			
比率	27.0%	73.0%	100%	84.0%	16.0%	100%				

令和5年度の1年間の新規入所者26名の入所前の状況は上記のとおりです。
経路としては自宅から7名で27.0%、病院から15名、介護老人保健施設からは4名で73.0%と
なっています。

また、退所者の総数は25名ですがそのうち3名、長期入院により退所、1名は他施設へ転所されま
した。死亡による退所については多くの方が終末期の看取りケアにより、ご家族様の協力を得なが
らできる限り心地の良い空間でその人らしく暮らし、施設内で安らかな終末を迎えられています。

9 面会者数

令和5年度の各月の面会者数は以下の通りとなっております。5月21日より直接の面会を再開し、1日5組、3人以内、1回15分の条件のもと感染予防に努めてきました。

毎月、平均的に面会にお越しいただけているためご利用者のQOL向上にもつながるものと考えられます。

7月14日から21日まで、12月30日から翌1月8日まで感染症発生に伴い一時中止としています。

(月別)

	組数	大人	中学生	小学生	幼児	乳幼児	人数合計
令和4年4月	84	169	4	2	2	0	177
令和4年5月	83	162	1	1	2	0	166
令和4年6月	83	165	2	2	3	1	173
令和4年7月	65	132	1	0	1	3	137
令和4年8月	71	156	3	3	1	0	163
令和4年9月	50	112	0	1	1	0	114
令和4年10月	97	199	1	1	1	2	204
令和4年11月	99	183	0	1	0	1	185
令和4年12月	92	191	0	0	3	0	194
令和5年1月	72	126	0	1	0	0	127
令和5年2月	62	125	0	0	0	0	125
令和5年3月	89	164	2	2	0	0	168
合計	947	1,884	14	14	14	7	1,933

10 介護課

事業目標として食事に関する技術・知識の向上と誤嚥性肺炎による入院0を目指すという2項目を挙げていました。

食事に関する技術・知識の向上については研修の実施が出来ておらず、介護課として技術の向上に向けた能動的な動きはできませんでした。どのように研修を行うか検討をして、定期的な実施が行えるようにします。

誤嚥性肺炎による入院0については、今年度の誤嚥性肺炎での入院者3名ということでこちらも目標の達成はできていません。入院者の内訳は、食事をご自身で召し上がられている方が2名と経管栄養の方が1名です。直接的な職員の介入がある方ではなかったのですが、誤嚥性肺炎を防ぐ方法を研修として取り入れて職員全体で共有することで、できる限り誤嚥性肺炎を0に近づける努力を続けていきます。

事業計画にあげている適切なサービスの提供については、各フロアの役職やご利用者の担当者を中心に体調や能力の変化に合わせてその方の能力を引き出し、その方にあった生活になるような対応ができました。今後ご利用者の体調や能力に合わせたサービスの提供を念頭に、ご利用者に過度な負担を強わず快適に毎日の生活を送っていただけるサービス提供を目指します。

11 看護課

(1) 苑内診察等の実施内容

項目	実施日	対象者	内容
定期健康診断	年1回(9月)	利用者全員	採血・検尿・胸部X線・心電図等
	(夜勤を行う介護職員は 9月・3月 年2回実施)	職員全員	指定検査項目・腰痛検査
苑内診察	毎週 月曜日・金曜日	利用者	診察・治療・血圧測定・その他
苑内歯科診察	毎週 火・木曜日 午前	利用者	歯科診察・口腔ケア指導・義歯調整
精神科医診察	第1・3水曜日 午後	利用者	認知症入居者の理解、対応方法
泌尿器科診察	第2・4木曜日 午前	利用者	泌尿器科診察・看取り対応
インフルエンザ予防接種	10月中旬～12月上旬	利用者・職員	インフルエンザ感染予防のため
肺炎球菌ワクチン接種	7月～9月中旬	利用者	肺炎予防、年齢対象の利用者

(2) 月別受診実績

区分		月												計	備考
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
苑内 受診	内科診察	178	165	184	216	184	175	209	172	232	176	178	197	2,266	
	歯科診療	21	28	46	31	43	22	16	32	31	15	27	23	335	
	精神科医	51	49	53	27	49	47	50	52	51	49	51	54	583	
	計	250	242	283	274	276	244	275	256	314	240	256	274	3,184	
苑外 受診	内科		6	2	3	2	1			3	2		2	21	
	外科	1	7	7	2	5	1	2	3	3	4	2	3	40	
	整形外科	3	5	2		1	1	2	1	2	1	3	1	22	
	耳鼻咽喉科			1						1				2	
	眼科	1	2	2	5	1	1					1		13	
	皮膚科														
	婦人科														
	泌尿器科	35	27	25	26	25	29	30	29	32	32	29	39	358	訪問診察有
	精神科		1		1		1	1			1			5	
	神経科														
	歯科	11	12	20	7	12	14	7	12	18	12	12	12	149	訪問診察有
	その他	3	3	1	4	4	12	15	15	26	27	25	26	161	透析、検査
計	54	63	60	48	50	60	57	60	85	79	72	83	771		

オンライン診療を活用し産業医と連絡を密に取り、ご利用者の治療、職員の健康管理を行うことができました。また感染症流行の中、協力医療機関と連携を取り、施設内での酸素吸入や点滴を行い、ご利用者の診療にあたる事ができ最小限の通院で対応する事ができました。

歯科医師の指導のもと口腔ケアの充実により肺炎予防、口腔内トラブルの治療に努める事もでき、肺炎による通院の減少が見られました。職員においては継続して定期的にPCR検査を行い感染予防対策に努めてきました。令和6年度も引き続き安心して生活が出来るように健康管理に努めます。

(3) 入院・退院の状況

内容		月												計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院	入院者延数	4	5	5	6	6	8	8	5	3	4	4	3	61	5.1
	入院延日数	109	132	123	139	157	222	204	110	62	84	63	68	1473	122.8
	平均入院者数	3.6	4.3	4.1	4.5	5.1	7.2	6.6	3.7	2	2.8	2.2	2.2		4
退院	退院者数	0	3	1	2	2	2	5	2	3	0	2	1	23	1.9
	退院者の入院延日数 (日)	0	208	19	57	74	319	157	63	289	0	28	91	1305	109
	1回当たり平均入院日数 (日)	0	69	19	29	37	160	31	32	96	0	14	91		56.7

(4) 入院期間調書

入院日数	件数	
～14日	4	17 %
15日～29日	7	30 %
30日～59日	5	22 %
60日～89日	2	9 %
90日以上	5	22 %
計	23	100 %

(5) 入院者数及び入院延日数等の推移

	月延入院数	月平均人数	入院延日数	実人数換算	前年度比較	
					日数	実人数
H30年度	61	5.1	1876	5.1人		
R1年度	47	3.9	1151	3.2人	-725	-1.9 人
R2年度	39	3.3	1254	3.5人	103	0.3 人
R3年度	37	3.1	843	2.3人	-418	1,1 人
R4年度	50	4.2	2227	6.1人	1393	3.8 人
R5年度	61	5.1	1473	4.0人	-754	-2.1 人

令和5年度の利用者の入退院状況は上記のとおりです。

入院者の年間延入院日数は1473日となりました。これは家族の事情により退所手続きができず長期入院のままとなるケースがあり、また急変のリスクが高く入院加療、長期加療を希望する利用者(家族)が増えていること、また昨年度後半に新型コロナウイルス感染症に罹患し後遺症により療養型病院に長期入院のご利用者もいたためです。この1年で入退院した利用者の内訳は上記(4)表のとおりです。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後も感染拡大により受け入れ病院の通院が困難な例もあり、協力医療機関と連携し施設内で出来る範囲の治療を行ったり、後遺症のため療養型病院に長期入院となる例もありました。短期入院の利用者に関しては骨折や現病歴の再燃が原因で加療入院となる例が見受けられました。入院の延べ日数を実人数換算すると、年間月平均で入院者は5.1名となっています。先に述べた様に新型コロナウイルス感染症が大きく関わっています。病院受診を希望し入院加療され、その後施設での見取りを希望し退院されてくるご利用者も増えています。

また口腔ケアの充実により誤嚥性肺炎での入院者が減少となっています。今後も感染予防に努め利用者の健康管理、疾病の早期発見に対応していきます。

12 リハビリ課

令和5年度リハビリ課事業報告について、令和5年度ご利用者のリハビリ状況を月ごとに集計し、年間介入人数を算出しています。リハビリ全体での年間総介入人数は7996名でした。各部門別では今年度レクリエーション（以下レクと記載）の項目を新たに追加しました。これは、令和5年度新たにリハビリ課として、2名の介助員がリハビリ課の所属となり、レクに関してもリハビリ課の取り組みの一貫とし活動を行ったためです。部門別での年間介入人数は、①個別リハビリでは5635名②集団リハビリでは351名③作業リハビリでは1201名④レクでは808名でした。前年度と比較しての総計および部門別での介入人数増減比は、総計では551名の増加、部門別では①428名の増加②47名の増加③733名の減少でした（④は前年度項目にないため増減無とする）。

リハビリ課では今年度も以下の項目を主に活動を行いました。

- (1) 可動域訓練・筋力訓練といった身体機能面維持向上に向けたリハビリの実施
- (2) 移乗動作訓練や歩行訓練といったADL維持向上に向けたリハビリの実施
- (3) ご利用者に合わせたシーティングポジショニング、福祉用具の選定といった環境整備に向けたリハビリの実施
- (4) 行事や余暇活動、外気浴といった活動参加に向けたリハビリの実施

①に関しては、介入人数が増加した要因として、今年よりリハビリ職員をフロアー担当制とし、フロアーでの生活リハビリへ繋げるADL訓練の実施や短時間でかつ介入回数を増やしての身体機能訓練を実施したためです。目的としてはご利用者の日々の生活により密着することでの気づきや、ご利用者のニーズに合わせた介入を行っていくためです。

②に関しては、月曜日午前（集中リハビリ）木曜日午前（集団リハビリ）に実施していた活動を①の充実化を図る目的で1月より休止しました（11月は感染症の蔓延のため中止）。昨年度より介入人数が増加した要因としては、4月～10月に実施した1回の参加人数および実施回数の増加があったためです。②の項目に関しては引き続き動画鑑賞会（水曜9：10～10：00）の介入人数として記載を行っていきます。

③に関しては水曜日午後（園芸）、木曜日午後（制作）、金曜日午前午後（制作・書道）と実施をしてきましたが1月に介助員1名の退職があり、水曜日午後（園芸）・木曜日午後（制作）、書道の活動を以降休止したため介入人数が減少となりました。今後は金曜日の制作を中心に実施し園芸や書道に関しては個別での対応を行っていくこととします。また金曜日の実施については午後に両フロアー対象の実施とし新年度より行っていく予定です。

④に関しては、本年度2名の介助員がリハビリ課所属となり、水曜日午前中に実施しているえがおクラブ等の活動を中心に介入人数として含めていましたが、介助員1名の退職に伴い、新年度よりリハビリ課所属の介助員が再び不在となる。そのため以前と同

様に来年度から④の項目は集計を行わずに対応をしていく。

令和5年度月間介入表					
	①個別リハビリ	②集団リハビリ	③作業リハビリ	④レク	総計
4月	424	76	129	72	701
5月	568	83	193	120	964
6月	426	75	125	127	753
7月	427	25	57	45	554
8月	384	40	107	75	606
9月	356	3	94	28	481
10月	410	16	105	111	642
11月	434	33	134	81	682
12月	417	0	74	99	590
1月	574	0	49	0	623
2月	633	0	72	25	730
3月	582	0	62	25	670
合計	5635	351	1201	808	7996

13 栄養課

食事を美味しく召し上がっていただき、心と身体の栄養に繋げるためには、どうしたら良いか、日々探求心を持って前向きな姿勢で取り組んできました。「食事は自分の力で楽しく食べたい」これは誰もが望むことですが、加齢による機能の低下は避けることができません。その衰え方には、個人差があるため「常菜」「一口大」「粗刻み菜」「刻み菜」「ミキサー菜」の5形態及び利用者の状態に合わせた対応をしました。また元気に過ごしていただくためにエネルギーやタンパク質の豊富な内容で食事を提供しました。嚥下機能の低下している方には、高栄養食や、ミキサー調整食の導入（栄養強化食）や一時的に食事量低下の方対象に療養食の実施をしました。他にもむせの軽減の為、ミキサー食のトロミ剤の検討や、刻み食の汁物の工夫など、歯科医師から助言を頂き、喫食量が増加しました。これらにより一層、栄養量の確保に努めています。

① イベント食の実施

月1回の「誕生日食」には赤飯や天ぷら、お刺身、寿司の提供、「選択食」は肉料理・魚料理を選んでいただきました。敬老会には、味だけではなく、食欲が増すように盛り付けにもこだわりました。また、食事懇談会・嗜好調査で一番食べたい料理を伺い、希望にも応えています。

② 水分補給ゼリー・脱水予防ドリンク

1日に必要な水分を十分摂取できない利用者に、水分補給のためのゼリーや、脱水予防のドリンクを提供しました。

③ 服薬ゼリー

1日3回薬を安心して服用していただける様に、召し上がりやすい味で作りました。

④ 自助具や食器・スプーン

自立支援のため常備している介助食器、介護スプーン、汁物マグカップ、すべり止めマットに加え、スポンジグリップやプラスチックスプーンも用意し、幅広い個別対応をしました。

⑤ 嗜好調査

調査(2階利用者27名・3階利用者23名)は、令和6年3月5日～3月9日の期間実施しました。食事懇談会では意見が特定のご利用者に偏る傾向がありますが、嗜好調査では個別の希望が直接聞くことができ、以前より細かい要求が増えています。現状としてはご利用者の意向は把握しづらいため、嗜好調査や食事懇談会を確認する事や食事摂取量・提供時のラウンドも行い、利用者が満足出来る食事内容にしています。

⑥ 食事懇談会

令和5年度も、利用者の嗜好や普段の食事についての要望・質疑応答や意見を確認するため、懇談会を実施しました。今年度の料理クラブは、感染予防を踏まえた上での活動となり、各フロアー別々に少人数で行った事を報告しました。また、手作りおはぎは、要望に応えサイズを大きくし、種類もつぶあん・こしあんと対応し、喜んでいただきました。他にもフレンチトースト・天ぷら・刺身・寿司は回数を増やし、希望に沿った献立である事を伝えています。食中毒の予防方法や注意点も説明しています。

ご利用者からの意見がたくさんあり、応えられない事もありますが、出来る限り意向を取り入れ、充実した食事の提供を目指していきたいと思っております。

食事懇談会実施状況

実施日	参加人数	活動内容
第1回 令和5年4月5日	2階利用者 29名 職員 5名 3階利用者 37名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の振り返り ①嗜好調査実施 ②料理クラブの開催 ③固形おやつを提供 ・ 今年度の予定 ①生物提供時期 ②料理クラブについて ・ その他 ①利用者からの要望 ②まとめ
第2回 令和5年6月7日	2階利用者 16名 職員 5名 3階利用者 21名 職員 5名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒の予防について ・ 利用者の要望について ・ 郷土料理の提供について ・ まとめ
第3回 令和5年8月	2階利用者 25名 職員 6名 3階利用者 25名 職員 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理クラブの実施について ・ 今後の予定 ①夏祭り ②8月誕生日食 ③お楽しみ食 ④敬老祝賀会 ・ 利用者の要望について ・ まとめ
第4回 令和5年10月4日	2階利用者 22名 職員 6名 3階利用者 24名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の行事食について ①敬老の日 ②秋分の日 ・ 今後の予定 ①選択食 ②10月誕生日食 ③お楽しみ食 ④生魚の提供 ⑤焼き芋大会 ・ まとめ

実施日	参加人数	活動内容
第5回 令和5年12月6日	2階利用者 15名 職員 3名 3階利用者 35名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定 ①12月誕生日食 ②クリスマスについて ③年末について ・お正月について ①お正月料理 ②七草粥 ③年始のパン提供について ・まとめ
第6回 令和6年2月7日	2階利用者 13名 職員 4名 3階利用者 23名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の行事食 ①お正月料理 ②七草粥 ③1月誕生日食 ④節分 ⑤選択食 ・今後の予定 ①2月誕生日食 ②ひな祭り ③彼岸 ④3月誕生日食 ・食事提供の変更の報告 ・まとめ

(2) 年間栄養摂取量

	熱量 Kcal	蛋白質 g	炭水化物 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	塩分 g
4月	1,369	62.5	186.1	46.6	620	7.8	558	0.72	1.00	56	7.9
5月	1,367	62.4	183.9	47.2	628	8.6	587	0.67	0.97	61	7.9
6月	1,382	62.3	186.4	48.1	623	8.2	553	0.73	1.01	67	7.9
7月	1,380	62.2	186.2	47.6	627	9.1	625	0.69	0.98	74	8.2
8月	1,379	62.1	184.0	48.7	611	8.8	594	0.74	1.02	55	8.1
9月	1,382	62.4	187.4	47.5	607	8.6	562	0.69	0.95	65	8.0
10月	1,370	62.2	184.1	47.5	624	8.7	545	0.72	0.74	59	8.1
11月	1,382	62.6	184.1	48.6	632	8.7	572	0.69	0.69	57	8.0
12月	1,402	62.8	187.8	49.6	608	8.7	579	0.72	0.72	62	7.9
1月	1,368	62.3	182.7	47.9	587	8.8	577	0.70	0.70	54	7.8
2月	1,373	61.4	184.9	48.3	615	8.1	624	0.72	0.72	75	7.8
3月	1,381	62.2	187.9	47.0	607	8.9	630	0.68	0.97	71	7.9
合計	16,535	747.4	2226.6	574.6	7385	103.0	7006	8.48	11.79	756	95.5
平均	1,378	62.3	185.6	47.9	616	8.6	584	0.71	0.98	63	8.0
基準値	1,350	59.7	183.0	42.0	600	10.0	1,000	0.80	1.00	100	8.0

(3) 行事食の実施状況

月	日	行事名	行事食の主な内容	備考
4	1	開設記念日	お赤飯・天麩羅(海老・薩摩・椎茸)・帆立小柱の酢の物 キウイフルーツ・若竹汁	4月5日 食事懇談会
5	5	端午の節句	ご飯・ねぎとろ盛り・茶碗蒸し・キャベツの胡麻和え グレープフルーツ・すまし汁(花麩) <おやつ> 柏餅	
	14	母の日	穴子の混ぜご飯・蒟と生揚げのそばろ煮・桜ん坊ゼリー 細筍の赤だし汁	
6	18	父の日	お赤飯・天麩羅(海老・野菜)・烏賊と胡瓜冥加の辛子味 噌和え・オレンジ・すまし汁(星の麩)	6月7日 食事懇談会
7	7	七夕	七夕そうめん・豚肉と茄子の油味噌・青豆腐の薬味のせ・葡萄	
	30	土用の丑	鰻蒲焼丼・胡麻豆腐・胡瓜トマトの酢の物 キウイフルーツ・すまし汁(花麩・貝割菜)	
8	29	お楽しみ食	鰻梅ひじき丼・卵豆腐・烏賊胡瓜しその酢の物・葡萄 すまし汁(紅白半片)	8月2日 食事懇談会
9	6	敬老会	お赤飯・金目鯛の西京焼き・天麩羅(海老・野菜) 炊き合わせ・大根の柑橘漬け・オレンジ・すまし汁(松茸)	
	23	秋分の日	手作りおはぎ・紅鮭の柚庵焼き・ほうれん草胡麻和え オレンジ・豚汁	
10	26	お楽しみ食	まつたけ御飯・天麩羅(海老・野菜)・烏賊胡瓜大葉の酢味 噌和え・りんご・すまし汁(手鞠麩・万能葱)	10月4日 食事懇談会
11	30	お楽しみ食	ご飯・いわしの蒲焼き・冥加わかめ胡瓜の酢の物・手作り なめらかプリン・海老すり身汁	
12	20	クリスマスデザート	ティラミス・手作りプラムゼリー	
	25	クリスマス食	ご飯・手作りチーズハンバーグ・イクラのシーフードサラ ダ・木いちごヨーグルト和え・ポタージュスープ	12月6日 食事懇談会
	31	大晦日	天麩羅そば・さつま芋とプルーン煮・みかん	

1	1	お正月	赤飯・おせち盛り祝い菓子・お刺身盛り（鮪・サーモン） いちご・紅白汁	
	2	お正月	ご飯・天麩羅（海老・野菜）・黒豆・りんご・けんちん汁	
	3	お正月	鮭の親子丼・胡桃の彩り白和え・キウイフルーツ すまし汁（蒲鉾・万能葱）	
	7	七草	七草粥・魚の粕漬け焼き・レンコンの金平・林檎のスカッ シュ煮・赤だし汁	
2	3	節分	ご飯・いわしフライ・ひじきの炒め煮・洋梨缶・鬼除け節 分汁	2月7日 食事懇談会
3	3	ひなまつり	穴子ちらし・いろどり白和え・フルーツ寒天蜜かけ・潮汁 (蛤) <おやつ>甘酒	3月 嗜好調査
	20	春分の日	手作りぼた餅・若鶏の柚庵焼き・ほうれん草胡麻和え オレンジ・味噌けんちん汁	

誕生日食⇒毎月1回実施

栄養コラム⇒随時掲載

(4) 選択食の実施状況

選択食/日付	内 容
令和5年 6月21日	酢豚 または 回鍋肉
令和5年 10月25日	中華風クリーム煮 または 麻婆豆腐
令和6年 2月7日	豚肉の生姜焼き または コロケ

14 生活相談室

(1) ケアカンファレンスの取組み

今年度は新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行となり、様々な対応において緩和されてきました。しかし高齢者施設では感染対策は継続して予断が許されない状況でした。その中で状態変化のある方や、事故リスクの高いと思われる方については感染対策をとりながら、23件の対面でのカンファレンスを実施することができました。前年度同様に施設内で書面にて行う場合には、ご本人様はもちろん、ご家族様のご要望、ご意見については事前に電話や面会時に確認し、可能な限りケアプランに反映できるよう取り組み、急な状態の変化がある方や終末期の方に対して適宜ケアプランの見直しと変更を行いました。

退院後のケアプランについても、ご利用者様とご家族様の意向を尊重し、状態に合わせたケアプランとなるよう努めました。今後もできる限り対面でのカンファレンスを実施し、ご家族様と職員とで共有が図れるよう取り組んでいきます。

令和5年度の実績は、次のとおりです。（参加率 11.6 % ）

実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数	実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数
4月	20	15名	0 家族	10月	20	17名	1 家族
5月	22	12名	2 家族	11月	18	16名	0 家族
6月	14	15名	6 家族	12月	11	16名	0 家族
7月	15	12名	4 家族	1月	15	28名	0 家族
8月	11	19名	5 家族	2月	15	18名	0 家族
9月	13	15名	5 家族	3月	12	16名	0 家族
合 計		186 件 199 名		23		家族	

(2) 入所者懇談会

今年度も引き続きご利用者と職員との懇談会を2か月毎に開催しています。時間は14時～15時頃に実施し、各階毎に30分ずつ開催しました。

今年度も昨年と同様に感染症予防対策を行いながら、少しでも懇談会の中でご利用者の声に耳を傾け可能な範囲で望んでいること、感じていることを限られた環境の中でどの様に対応ができるのかを試行錯誤しました。その中で“今できること”、希望に沿った対応を行うことで苑生活に潤いが生まれ、生活が豊かとなる様に支援を行い、今後も入所者懇談会を通して関係部署間での情報共有や連携を図り可能な範囲で希望に沿った対応をしていきます。

また、社会情勢や苑からのお知らせ、行事の案内を行うことで情報共有や社会の中で生活をしているという実感していただける機会にもつながっています。

ご利用者からの意見については、栄養課、介護課等と連携を図り可能な範囲で希望に沿った対応（食事やホーム喫茶のメニューに取り入れる等）を行っています。

活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和5年 4月5日(水) 15時30分 ～16時30分 2階、3階西側食堂	参加者 2階：28名 3階：36名 計：54名	① 新体制になったこと、課長の挨拶。移動した職員紹介 ② 新規入所者の紹介 7名 ③ 新入職員の紹介 ④ 入所者からはトランプ、軽い体操、車に乗って出かけた等の希望が聞かれている。 また食べたい食べ物（寿司、マック、麺類、メロン、ソースのかかった総菜等が食べたいとの希望があり、外注食や食事のメニューにて対応していくこととした。 また、アンケートを実施し希望の確認をして欲しいとの要望もありアンケートを実施し次回の時に案内を行う。 ⑤ 苦情窓口があることのお知らせ
6月7日(水) 14時～14時50分 2階、3階西側食堂	2階：14名 3階：21名 計：35名	① 前回の振り返り アンケートを実施し、外出したい、お寿司、麺類などを食べたいとの希望が多くあり、順次対応していくことを伝えている。 ② 時事 外出の機会を設け少しずつ園外の活動を増やしていくこと。食中毒の時期なり食べ物の管理に注意。食事前後、トイレの後に手洗いを行ってほしいことを伝達。 ③ 新規入所者の紹介 5名 ④ 入所者からの希望 献立の放送が聞こえないとの声があり、栄養課に検討の依頼を行った

		⑤ 苦情窓口がある事のお知らせ
8月2日(水) 14時30分 ～15時40分 2階、3階西側食堂	2階:23名 3階:23名 計:46名	① 前回の振り返り 献立の放送については、ゆっくりと伝え音量を上げ対応している ② 施設長の挨拶 ③ 新入所者の紹介 1名 ④ 夏祭りの内容紹介 ⑤ 入所者からの要望 夏に食べたいもの:かき氷、スイカ、アイスクリーム、かつ丼サンド、季節の果物、等 ⑥ 苦情窓口がある事のお知らせ
10月2日(水) 14時～15時 2階、3階西側食堂	2階:20名 3階:22名 計:42名	① 前回の振り返り ② 時事 インフルエンザの予防接種が始まること。衣替えの時期となり衣類や寝具の入れ替えを行うこと ③ 行事の案内 焼き芋大会、紅葉見学 ④ 新規入所者の紹介 2名 ⑤ 入所者からの希望 特になし ⑥ 苦情窓口がある事のお知らせ
12月6日(水) 14時10分～15時 2階、3階西側食堂	2階:14名 3階:28名 計:42名	① 前回の振り返り ② 新規入所者の紹介 6名 ③ 12月～2月までの予定 クリスマス会、新年祝賀会、節分 ④ エアコンの故障についての説明 ⑤ 来年4月から介護保険法改正にて料金が変わる事の案内 ⑥ 入所者からの希望 クリスマスイブにケンタッキー食べたい、お正月にお餅食べたい、糸引くくらいにたくさんチーズの乗ったピザが食べたい ⑦ 苦情窓口がある事のお知らせ
令和6年 2月7日(水) 14時～15時 2階、3階西側食堂	2階:10名 3階:18名 計:28名	① 前回の振り返り ② 時事 昨年12月末から～1月にかけて2階でインフルエンザが発症した事でご不便をお掛けしたこと、現在発症者なく通常の生活に戻りつつあることを伝えている。 ③ 新規入所者の紹介 3名 ④ 入所者からの希望 特になし ⑤ 苦情窓口がある事のお知らせ

15 ボランティア・地域貢献担当

今年度も「開かれた施設づくり」というテーマをもとに活動を行ってきました。制限がかかる中でボランティアの受け入れ、近隣学校との関わり、地域自治会や第二層協議体の活動、青梅認知症家族の会「青梅ネット」の活動の支援などを行ってきました。

障がい者雇用は「障がい者雇用担当」を専門に配置することで生活の質向上にも関わりのある重要な業務を行うことができました。また、リハビリ課所属の介助員として仕事に責任を持つことを意識しながら業務にあたることができました。

就労支援センターや卒業校である青峰学園とも関係を継続し、支援体制を整備しながら他部署との連携を図りながら施設全体の間接業務に取り組み、他部署の負担軽減につながるよう業務を行うことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で活動の制限があり、その都度社会情勢と施設の方向性を確認しながら慎重に進めてきました。

1. 障がい者雇用の定着

障がい者雇用4年目となり、リネン交換、感染症予防のための消毒業務やご利用者の生活の質の向上を目的としてレクリエーション活動を行った。

1カ月に1度振り返りを行い翌月の目標を立て仕事だけにとどまらず、社会人としての成長を体系的に支援していくことができました。

○施設内の役割について

リネン担当として週に一度のリネン交換だけではなく布団や枕の入れえなども行った。

○レクリエーションの実施について

ご利用者に制作レクリエーションの場を提供することで、楽しみ活動の充実を図っていき、また、リハビリ課の一員となることで作業療法にも関わりを持つことができました。制作レクリエーションの課題を季節感のあるものにするにより、四季を感じられる機会にもなりました。

また、細かい作業に関しては制作ボランティア活動に参加することや、青峰学園福祉コース、青梅市立吹上中学校、青梅市立霞台中学校、東京都立青梅総合高校定時制の生徒との交流活動などにも発展していくことで様々なレクリエーション活動に進展でき、作品の一つひとつに「交流」というテーマができました。

学校や保育園関係の交流活動のツールとして作品を用いることで関係性を強めることができました。

通年の取り組みとして「牛乳パックの空き箱を使用したハガキづくり」では、残暑

見舞いと暑中見舞いに使用しました。作成したはがきを一度青峰学園福祉コースに納めて背景画を描いていただきました。その後職員が作成し、ご家族に送るという工程により一つの作品に多くの方が関わることができました。完成された作品をご家族や保育園、学校をつなぐツールとしても活用し連携強化にもつながりました。

○パラスポーツ「ボッチャクラブの企画・運営」について

地域の方との交流事業として始めた「ボッチャクラブ」は施設内のクラブ活動として実施することで、ご利用者の継続的な楽しみ活動の一つとなりました。ボッチャは吹上小学校、吹上中学校でも学校の取り組みとして活動していることや、青梅市としても力を入れている取り組みです。今後、地域交流活動のきっかけになることも期待されます。

○えがおクラブなどのレクリエーション活動について

ご利用者との関わりを持つ機会を作るためにレクリエーションやリハビリ課で行う作業療法などの取り組みにも関わりを持つ機会を作ることができた。

○その他の取り組みについて

事務所で書類の仕分け作業など、他部署の間接業務を担当することができました。

2. ボランティアコーディネーターとしての活動

ボランティアの受け入れは感染症対策を継続しながら実施してきました。ボランティア活動は、感染症対策をしながら活動を行える方法を考えました。社会資源である移動売店「とくし丸」ではご利用者の買い物の選択の幅を広げ、毎週楽しめる活動となりました。感染症の状況に合わせて活動を継続していくことの難しさ感じる中で工夫して活動を続けることができました。

○個人ボランティア

年間を通して様々な制限がある中での受け入れとなりました。以前のご利用者のご家族様をボランティアとして受け入れることができ、地域のつながりをより強固にしていくきっかけもできました。

○朗読ボランティア、傾聴ボランティアの活動の再開

朗読ボランティアに関しては画面をスクリーンに映し出し、紙芝居を楽しんでいただく工夫を音訳ボランティアたんぼぼさんと行ってきました。また、傾聴ボランティアうさぎさんの活動を1階の多目的ホールでの活動とすることにより感染症の対策をしながらの実施となりました。

3. 学校・保育園関係

○青梅市立吹上中学校「ふれあい部」との交流

特別支援学級との関わりにとどまらず部活を通して生徒会役員から学校全体に発信していただくなどの取り組みを行うことができました。

文化祭ではふれあい部の活動としてぬりえを行っていただき、それをやすらぎの家に持ち帰り作品を完成させ、3月の作品展示会に掲示する取り組みや、夏祭りの塗り絵展示、3月の折り紙づくりなどの活動を行うことができました。

○青梅市立霞台中学校特別支援学級との交流

制作レクリエーションの取り組みの一つである折り紙の作品作りに、中学生の社会とのつながりを作る活動として共同作品を作ることができました。同作品をやすらぎの家の作品として青梅市立吹上中学校の展示祭に出展することができました。

○青峰学園高等部との交流

・福祉コース

4回のリモート交流や、認知症サポーター養成講座、新たに青峰学園に出向いての笑いヨガ交流を行い、また、以前から行ってきた制作レクリエーションの「折り紙リース」の作成も通年で依頼しました。さらに、塗り絵などの作品を通じた交流も継続して行うことで「見える交流の形」ができました。

・エコロジーサービスコース

昨年度から引き続いて青峰学園園芸スペースを作成し青峰学園で育てたお花を植えて育てることと施設の窓清掃を行いました。

年間5回定期的な活動によって職員では手の回らない施設の窓拭きを実施していただき、作業の場として喜ばれました。

○大久野保育園「音楽あそび」リモート交流

日の出町にある大久野保育園年長組が行っている「音楽あそび」をリモートでつなぎ、ご利用者と保育園児の交流をする機会となっています。1年間を通して園児の成長を見届けながら異世代交流することができます。当施設でボランティアとして活動されていた先生が保育園でも活動していたことから始まった交流ですが、その時間にとどまらず夏祭りの塗り絵等の様々な交流に発展しました。

後半、担当の退職に伴い、実施回数は減少したものの今後も活動を継続して行えるように調整していきます。

4. 地域関係

吹上自治会の活動をはじめ、地域活動に参加することで施設が社会資源を活用するだけでなく、施設が地域の社会資源であるという視点を地域住民にも持ってもらえるよう活動を行っています。介護保険における生活支援体制整備事業の取り組みとして第二層協議体の活動を行っています。大門地区は「みんなでつなぐてとてと会」の名称で行っています。地域の枠を広げ今井・藤橋地区で行われている「支え愛本舗ちょこっと霞」にも参加しました。さらに地域住民の社会資源で青梅市認知症家族の会「青梅ネット」の活動支援も行っています。

また青梅総合高校定時制の市民講師として「社会生活と福祉」という教科を年間通して担当しており、今後も様々な社会福祉法人の社会貢献活動に取り組んでいきます。

○介護福祉士養成校の実習生を1年生3名9日間、2年生2名30日間受け入れました。学校側とも連携を取り適切な指導を心掛けています。

○地域の支え合い活動

地域貢献活動の一つとして高齢の方や障がいのある方、日々の生活を送ることで小さな困りごとでも、いつまでも住み慣れた地域で元気に過ごしたい！という一人ひとりの思いを地域で支え合っていけるよう、「やすらぎの家たすけ愛♡隊」の事業を開始しました。

活動エリアを限定することによりやすらぎの家が地域の連携が図ることができるよう事業を行ってきます。

初めに説明会を行い、青梅市の主任ケアマネージャーの方や一般市民にもご協力いただきながら活動を進めてきています。

具体的な活動としてはお部屋の中の掃除、調理のお手伝いなどがあり対応してきました。その要望に応えられるように協力会員の数を増やすことで、一人ひとりのニーズに合ったコーディネートを行うことができます。そのためには多種多様な協力会員が必要であり、協力会員を増やすための説明会など広報活動も行ってきました。

今後も地域の方の支え合いの活動とともに、やすらぎの家たすけ愛♡隊が地域に普及できる活動も並行して進めていきます。

やすらぎの家 たすけ愛♡隊 活動実績

	利用件数	協力会員数	利用会員数
6月	説明会開催	8	1
12月	2	10	3
1月	6	22	5
2月	10	23	6
3月	13	24	7

令和6年3月31日現在 協力会員24名 利用会員7名 利用件数31件

・地域交流イベントの再開

新型コロナウイルス感染症対策として中止していた地域交流イベントを再開することができました。今年度は4回の実施となり、2回目は認知症サポーター養成講座を開催し、3回目以降は認知症カフェを行うことで認知症の介護で悩まれている方が専門職に相談できる機会にもなりました。また、地域包括支援センターの職員と連携を取ることで地域の社会資源のつながりを強化する取り組みとなってきました。

次年度に向けて、公立福生病院の出張講座などを利用し、地域の方が施設に足を運べるきっかけを作っていく。ほかにも地域の高齢者サロンを行うことで地域に開かれた施設として運営できるように努めていく。

ボランティアの実施状況

月	内容	延べ数	備考
4月	作業療法補助ボラ	7	大島様
	リモート朗読ボラ	5	音訳ボラたんぽぽ 5名
14名	ホーム喫茶	2	山際様
5月	作業療法補助	7	大島様
	ホーム喫茶	2	山際様
9名			
6月	作業療法補助	9	大島様
	ホーム喫茶	2	山際様
	リモート朗読ボラ	5	音訳ボラたんぽぽ 5名
16名			
7月	作業療法補助	8	大島様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読ボランティア	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	お琴演奏ボラ	5	榎の実会 お琴サークル
	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
	将棋ボラ	2	澤田様
27名			

8月	作業療法補助	7	大島様
	囲碁将棋ボランティア	4	佐藤様、澤田様
16名	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
9月	作業療法補助	8	大島様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読ボランティア	5	音訳ボランティアたんぽぽ
15名	朗読ボランティア	5	音訳ボランティアたんぽぽ
10月	作業療法補助	12	大島様、佐藤様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読ボランティア	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
	園芸ボランティア	2	吉村様
26名	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
11月	作業療法補助	12	佐藤様、大島様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
24名	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
12月	作業療法補助	13	大島様、佐藤様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
20名	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
1月	作業療法補助	9	大島様、佐藤様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読ボランティア	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
	将棋ボラ	2	澤田様
	リネン交換	6	松本様、八坂様
29名	リネン交換	6	松本様、八坂様
2月	作業療法補助	12	大島様、佐藤様
	ホーム喫茶	2	山際様
	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	将棋ボラ	2	澤田様
	リネン交換	6	松本様、八坂様
	園芸ボランティア	2	吉村様
29名	園芸ボランティア	2	吉村様
3月	作業療法補助	10	大島様、佐藤様
	ホーム喫茶	2	山際様
	お話相手ボラ	2	坂和様
	朗読クラブ	5	音訳ボランティアたんぽぽ
	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ
38名	傾聴ボランティア	5	傾聴ボランティアうさぎ

	将棋など	4	澤田様
	リネン交換	4	八坂様
	園芸ボランティア	6	渡辺様、吉村様

ボランティア合計 263人（個人・団体含む）

16-1

【連絡調整会議】

令和5年度連絡調整会議は毎月第4木曜日に各部署役職者が集まり、施設全体の検討課題、スケジュール等の調整を行ってきました。

連絡調整会議では事業を進める上での各部署役職者が集まり、スケジュール調整や全体に周知しなければならない課題等の調整、意思統一を図る重要な機能を果たしています。

連絡調整会議の機能として各部署から各部署への連絡事項、検討事項を伝える役割があり、施設が一つの組織として機能するための重要な役割を果たします

令和5年度の検討事項は以下のようになっています。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年4月27日 15時30分 ～16時30分	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動 ・ コロナウイルス感染症対策 ・ 令和4年度事業報告について ・ 法人事案について ・ 各部署からの報告
5月25日(木) 15時30分 ～16時30分	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動 ・ コロナウイルス感染症対策 ・ 令和4年度事業報告書 ・ 施設調査書について ・ 各部署からの報告
6月22日(木) 15時30分 ～16時30分	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動 ・ コロナウイルス感染症対策 ・ 固定電話入れ替え、スマホレンタルについて ・ 施設調査書の入力について ・ 人事評価制度構築について ・ 各部署からの報告
7月27日(木) 15時30分 ～16時10分	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動 ・ コロナウイルス感染症対策 ・ 人事評価制度構築について ・ 健康診断実施について
8月24日(木) 15時30分 ～16時10分	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動 ・ コロナウイルス感染症対策 ・ 人事評価制度構築について

		<ul style="list-style-type: none"> ・各部署からの報告
9月28日(木) 15時30分 ～16時10分	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・コロナウイルス感染症対策 ・人事評価制度構築について ・各部署からの報告
10月26日(木) 15時30分 ～16時10分	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策 ・人事評価制度構築について ・理事会報告 ・各部署からの報告
11月23日(木) 15時30分 ～16時10分	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・感染症対策 ・人事評価制度について ・次年度予算について ・各部署からの報告
12月27日(木) 15時30分 ～16時10分	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・感染症対策 ・人事評価制度について ・令和6年度事業計画書の作成について ・各部署からの報告
令和6年1月25日 (木) 15時30分 ～16時10分	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・感染症対策 ・人事評価制度について ・各部署からの報告
2月23日(木) 15時30分 ～16時10分	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・感染症対策 ・人事評価制度について ・各部署からの報告
3月28日(木) 15時30分 ～16時10分	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 ・感染症対策 ・人事制度について ・令和6年度事業計画・当初予算について ・令和5年度事業報告書の作成について ・各部署からの報告

16-2

【衛生委員会】

令和5年度衛生委員会は毎月第3金曜日に開催し、全12回開催しました。開催した衛生委員会には、全て産業医の中村麻予医師が参加し、指導・助言を頂きました。毎月の産業医による職場巡視の結果報告を行い、職場環境改善や労災防止等の対策を行いました。

また、全職員定期健康診断を9月に実施し、夜勤を行う職員は法令に基づき年2回行う必要があるため、3月に2回目を実施しました。各診断結果により産業医から個別の面接指導を行っていただきました。

労災については1件発生しました。ご利用者のリハビリ訓練中に発生したものであり、労災申請および労働基準監督署へ報告し、衛生委員会にて分析、予防対策を行いました。

令和5年度はインフルエンザ感染の流行とともに施設内での集団感染が発生しています。12月に職員1名の発症から1月11日の終息までご利用者20名、職員7名が感染しました。

青梅市および西多摩保健所への報告と感染対応について市立青梅総合医療センターの感染管理認定看護師の栗田様に助言を仰いでいます。集団感染の振り返りとして職員アンケートを実施しましたので報告内容を添付しています。

昨年度発生したコロナウイルス集団感染と比較すると、感染力は強くなく（昨年度コロナ感染者：ご利用者61名、職員22名）比較的落ち着いて対応することができましたが、それでも情報伝達の不足や職員への感染など改善すべき課題はあるため今後も引き続き集団生活を踏まえたうえで施設での感染対応について検討を重ねる必要があります。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月21日	9名	<ul style="list-style-type: none">・3F ワーカー室の職場巡視結果・労災予防について・腰痛予防対策について・コロナウイルス感染症について
5月20日	7名	<ul style="list-style-type: none">・3F 倉庫、汚物処理室の職場巡視結果・新型コロナウイルスへの対応・野生小動物に関する注意
6月16日	11名	<ul style="list-style-type: none">・3F 一般浴の職場巡視結果・新型コロナウイルスへの対応・労災予防強化
7月21日	10名	<ul style="list-style-type: none">・3F 会議室の職場巡視結果・新型コロナウイルスへの対応

		<ul style="list-style-type: none"> ・PCR 検査の実施について
8月18日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・1階食堂の職場巡視結果 ・利用者・職員定期健康診断の実施について ・新型コロナウイルス対策関連
9月22日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ室職場巡視結果 ・定期健康診断実施後の個別指導について ・新型コロナウイルス対策関連対策
10月20日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所・施設長室職場巡視結果 ・利用者・職員定期健康診断の結果に基づく産業医の個人面談の実施について ・感染症対応について
11月17日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士室・厨房休憩室の職場巡視結果 ・感染症対応について ・腰痛予防研修の実施について ・食中毒について注意喚起
12月8日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房職場巡視報告 ・感染症対応について
令和6年 1月20日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯場職場巡視報告 ・感染症対応について インフルエンザクラスターについて報告 ・床清掃の実施について
2月16日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・1F倉庫職場巡視報告 ・感染症対応について
3月17日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none"> ・女子更衣室職場巡視結果 ・感染症対応について ・感染症に関する休暇の取り扱いについて

16-3

【安全衛生委員会】

毎月第4木曜日午後に開催しました。

主にご利用者の事故や病気の予防策について話し合いを行いました。高齢者は感染症にかかりやすいので、衛生面での改善策に重点を置き、日常生活支援改善を検討しました。

新型コロナ感染症が5類に移行しましたが、1年を通して感染症予防に対して対応、対策を話し合いご利用者が安心、安全に生活できるように衛生面に配慮し感染予防策に取り組んできました。

また、昨今の温暖化により利用者が体調を崩すことの無いよう環境整備、脱水予防に努めてきました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月28日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *害虫予防対策について *床頭台の整理整頓、環境整備について *昼夜、日々の寒暖差あり衣類、掛物調整について
5月25日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *害虫予防対策継続 *裏山、土砂災害危険災害区域に指定されている為注視。 *施設内に小動物の侵入あり、対策を行う。
6月22日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *カビ対策。浴室壁紙交換(済) *床清掃(ワックスがけ)日程調整 *天候不安定による体調不良者の対応について
7月27日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *梅雨に時期、土砂災害、カビ対策について *利用者の体調管理について(脱水予防)
8月24日	8名	<ul style="list-style-type: none"> *脱水予防。利用者スポーツドリンク提供多めに *9月の健康診断に電解質項目追加(利用者) *施設北側斜面、土砂災害警戒区域に指定
9月21日	9名	<ul style="list-style-type: none"> *寒暖差による体調不良者の対応について *床清掃調整中 *施設修繕検討中
10月26日	9名	<ul style="list-style-type: none"> *昼夜の寒暖差に注意。掛物調整(散歩の時は羽織るものを) *加湿器準備 *施設修繕検討
11月23日	9名	<ul style="list-style-type: none"> *加湿器設置開始 *施設修繕アンケートについて

		*床清掃業者算定中
12月28日	9名	*床清掃実施日。1月6日、13日に施行 *各部署でできる範囲で掃除 *施設修繕アンケート実施中 *インフルエンザ感染症1名発症
令和6年 1月25日	8名	*床清掃予定通り実施、終了 *2Fインフルエンザ20名罹患 *室内空調設備で換気ある程度出来ている、必要に応じて窓開け換気
2月22日	11名	*昼夜の寒暖差あり対策を *館内で寒暖差あり防寒対策について *車椅子清掃について(汚染目立つ)
3月28日	8名	*昼夜、日々の寒暖差あり服装、防寒対策について *体交枕の正しい使用について *車椅子の清掃について、全体で協力 *手すりの清掃、利用者が頻繁に触れるところ重視

16-4

【褥瘡予防委員会】

「褥瘡を作らない」を目標とし入浴時、排泄時に皮膚や全身状態の観察を怠らず褥瘡の早期発見、早期対応を心掛けてきました。発生時には早期に対策を立て対応し、今期はベッドやマットレスの交換も実施され適時状況にあった環境下で生活をしていただき、高リスク者においては、生活環境、栄養状態、褥瘡既往歴等アセスメントを行い、ケアプランを遂行してきました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月21日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡治癒後で再燃注意者（4名）に対し予防対策周知 ・新入所者（3名）内1名ストマの方に対し皮膚トラブルに注意を周知。 ・気候変化によるオムツ環境、皮膚トラブルの観察依頼
5月19日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡再燃注意者（4名）の予防周知 ・ポジショニング、シーティング評価見直し依頼 ・新入所者（3名）内胃瘻の方（1名）ベッド上全介助にて褥瘡予防エアマット設置、皮膚トラブルをお持ちの方（1名）それぞれにポジショニング、シーティング評価依頼。
6月16日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡再燃注意者（1名） ・皮膚トラブル者（2名）に対し体圧分散除圧対策継続しオムツ内の環境保清、皮膚ダメージの配慮周知。 ・新入所の方（2名） ・褥瘡マネジメント LIFE 見直し入力
7月21日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡再燃者（1名） ・皮膚トラブル者（2名）ポジショニングシーティング依頼し環境を整える。
8月18日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）に対する対策、シーティング依頼 ・褥瘡因子の高い方（1名）予防対策強化 ・異常の早期発見、対応に努めるよう依頼 ・新入所者（1名）臀部に皮膚炎症ありポジショニング/シーティング依頼し褥瘡予防する
9月22日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）処置継続対応

		<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡因子の高い方（1名） ・皮膚トラブル者（1名）予防対策継続 ・9月健康診断 結果次第、嘱託医・栄養士評価 ・新入所者（1名）3回／週透析通院 ・褥瘡マネジメント LIFE 見直し入力
10月20日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）経過良好 ・皮膚トラブル者（1名）経過良好 ・9月の健診結果、嘱託医の指示 栄養の改善指示 ・新入所者（2名）、COPD 酸素継続者1名
11月17日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・再燃注意者（1名）ポジショニング/シーティング依頼 ・皮膚トラブル者も軽快される。 ・乾燥保湿の対策対応周知 新入所者（3名）3回／週透析通院1名 廃用症候群にてベッド上全介助にて褥瘡予防ポジショニング/シーティング依頼
12月15日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡因子の高い方（1名）エアマット設置し褥瘡予防 ・皮膚トラブル（3名） ・褥瘡マネジメント LIFE 見直し入力 新入所者（2名）
1月18日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）全身状態悪化一部皮膚ビランあり Alb 低下食形態変更、危険因子見直しと増悪の予防対策 ・皮膚トラブル者（3名）処置継続し危険因子排除 新入所者（1名）
2月16日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）全身状態低下、ベッド上でのポジショニング/シーティング評価対応。（褥瘡個別計画書） ・表皮剥離（2名）に対し褥瘡予防対策 ・新入所者（4名）に対する予防対策
3月15日	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡者（1名）対応対策見直し（褥瘡個別計画書） ・褥瘡治癒再燃（1名）予防対策見直し対応 ・新入所者（2名）に対する予防対策

16-5

【入所検討委員会】

入所検討委員会では申込者に対し入所検討を実施し、待機者として待機していただく形を取っております。事前面接は直接またはリモートで実施、あるいは書面にて確認し入所に繋げるよう努めました。

待機者の傾向としてさらに医療を必要としている方が増えております。そのため施設としての受け入れのための環境整備と、職員の医療の知識の向上が求められています。

感染症対策については、外部関係機関の協力を得ながら、入所前の PCR 検査の実施等により感染予防に努めました。

今年度の入所者内訳、在宅から 7 名、病院から 15 名、老健から 4 名、計 26 名の方が入所されています。

入所申込者と待機者が減少する中で、柔軟な対応を行い、迅速に入所に繋げて行く必要があります。施設内各部署と協議のうえ、速やかに外部関係機関との連携を図っていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
5 年 4 月 27 日 15:15～15:30	9 名	<ul style="list-style-type: none">・入所申込者 5 名入所検討会を行い 1 名保留、4 名待機とする・待機者人数の確認と待機者の傾向について・新規入所予定者について
5 月 25 日 15:15～15:30	11 名	<ul style="list-style-type: none">・入所申込者 4 名の入所検討会を行い、1 名保留、1 名情報詳細確認、2 名待機とする・待機者人数の確認・新規入所予定者について・入院者について
6 月 22 日 15:15～15:30	9 名	<ul style="list-style-type: none">・入所申込者 4 名、入所検討会を行い 4 名待機とする・待機者人数の確認と待期期間の傾向について
7 月 27 日 15:15～15:30	10 名	<ul style="list-style-type: none">・入所申込者 4 名、入所検討会を行い、1 名情報詳細確認、3 名待機とする・待機者人数の確認・新規入所予定者について・入退院について
8 月 24 日 15:15～15:30	7 名	<ul style="list-style-type: none">・入所申込者 3 名、入所検討会を行い 3 名待機とする・待機者人数の確認・新規入所予定について

		<ul style="list-style-type: none"> ・入院者の状況について
9月28日 15:15～15:45	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者6名、入所検討会を行い1名保留、5名待機とした ・待機者人数の確認と今後の入所予定について ・入院者の長期入院による退所について ・新規入所について
10月28日 15:00～15:20	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者4名、入所検討会を行い4名待機とする ・待機者人数の確認と新規入所予定について ・長期入院による退所予定について
11月23日 15:15～15:30	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者8名、1名情報詳細確認、7名待機とした ・待機者人数の確認と新規入所予定について ・入院者について
12月28日 15:20～15:30	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者2名、入所検討会を行い、2名待機とした ・待機者人数の確認と新規入所予定について ・入所申込者減少についてと入所申込者の傾向について
6年1月25日 15:15～15:30	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者2名、入所検討会を行い、2名待機とした ・待機者人数の確認と新規入所予定について
2月22日 15:15～15:30	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者2名、入所検討会を行い2名待機とした ・待機者人数の確認と新規入所予定について ・入所申込者減少について
3月28日 15:15～15:30	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・入所申込者5名、入所検討会を行い、1名情報詳細確認、4名待機とした ・待機者人数の確認と、入院者の状況、新規入所予定について

16-6

【事故苦情対策委員会】

令和5年度は12月～1月にかけて2階フロアでインフルエンザ感染が発生しましたが、事故・ヒヤリハットは毎月平均的な件数で推移しました。また、昨年度と比較しヒヤリハット・事故件数の総数が100件ほど減少しています。

これは、昨年度はコロナウイルスのクラスターが発生した事での入所者の出入りが短期間で起きたこと、またコロナウイルス感染により心身の機能低下によりヒヤリハット・事故件数が増加していたことが原因として考えられます。

個々にヒヤリハット・事故分析を見ていくと引き続き、皮膚トラブルが多くみられています。また、能力の誤認や心身機能低下による転倒や滑落もみられており、ヒヤリハットから傾向と対策を立てましたが減少までに至らず、同一者による繰り返しの事故やヒヤリハット等の報告書などが上がっています。事故発生ごとに関係職員と話し合いを行い、ケアの見直し、心身機能評価、内服薬の調整、日々の行動の特性などを確認し観察を行ってゆきました。しかし振り返りまではできず、同じ事故やヒヤリハットが続くといったことがありモニタリングの必要性を感じる年でもありました。次年度は傾向と対策、その後の結果の確認と見直しができる仕組みづくりを整えてゆきます。

入所者、家族からの要望については、今年度は昨年度の3倍となっており、言葉使い・ケアの方法について再確認が必要な年でもありました。

サービスマナー研修を通して言葉使いや接遇についても研修を行い、振り返りの機会を作っています。

見守り機器についても昨年と同様に定期的にセンサー類の不具合や使用方法についての見直しを実施し、対象となるご利用者が適切にセンサー類のマットを使用しているのかを改めて確認しています。再発防止のための検討や使用の有無などの検討も行き、状況把握と情報共有に努めると共に、原因の追求、再発防止に努めました。

次年度についても、今年度同様に個々の入所者の状況把握、情報共有を行い原因の追求、再発防止に努めていきます。さらに事故発生後速やかに関係部署においてOJTを行い、再発予防対策と発生原因の分析を行うことで、リスクマネジメント意識を高めるものとします。定期的なサービスマナー、身体拘束やリスクマネジメント、虐待防止法等の研修を実施しより良いケアにつなげられる様に次年度も職員個々のスキルアップを目指しケアを行っていきます。更に虐待の芽チェックを定期的実施し虐待とつながる様なケアを行っていないかも確認虐待の芽とチェックは全職員対象としリストを回収し次につなげられる様使用方法の検討を行ってゆきます。

本年度内で入院などに至った事故については保険者に報告しました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
4月27日(木) 16:10~16:35	11名	<p>① 令和4年度のヒヤリハット・事故の総数と傾向</p> <p>② 4月のヒヤリハット、事故報告の件数と傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒事故後1週間ほどして状態変化があり受診後に慢性硬膜下血種で入院、手術となった件 ・補聴器のソケットの破損や腕時計の紛失等物品の取り扱いについて ・カレンダーを画びょうで止めていた件 <p>苦情・要望 0件</p> <p>③ ヒヤリハット:22件、 事故件数:16件</p>
5月25日(木) 16:15~16:30	12名	<p>① 4,5月のヒヤリハット、事故報告と対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう自己抜去の事故が数件続き対応の検討と見直し・観察の継続 ・フロア移動後の情報共有が十分にされなかったことによる転倒事故の検証と情報共有の方法の検討 <p>② 要望:1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者から家族に相談→職員に頼んだことを適切に行ってもらえない事、家族からの差し入れのおやつが適切に提供できなかった件 <p>→全職員に再度依頼されたことは優先順位にて確認や、遅れる際には声をかける、いつ頃対応が可能かと伝えてゆくことを確認</p> <p>③ ヒヤリハット:13件 事故:11件</p>
6月22日(木) 15:45~16:15	12名	<p>① 5,6月のヒヤリハット、事故報告と対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定入所者によるヒヤリハット・事故発生について ・胃ろう自己抜去された方の対応の再度対応方法の検討 ・車いすからのずり落ち、入所者間のトラブル、介助時にそばを離れた事による滑落事故について検討 <p>② 要望 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者から家族に相談→夜間帯においてバルーンカテーテル挿入部分の痛みがあり職員に伝えたところ朝まで待ってくださいと言われ朝まで辛い思いをした。 <p>→入所者の気持ちに寄り添えなかった点での本人への謝罪と看護と連携強化の実施</p> <p>③ ヒヤリハット:10件 事故:12件</p>

7月27日(木) 15:30~16:00	12名	<p>① 6、7月のヒヤリハット、事故報告と対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助中の皮膚トラブルについて(内出血、剥離) ・胃ろう自己抜去される入所者のその後対応の経過報告 ・介助の際に職員に手をあげてしまう入所者の対応について <p>② 苦情・要望：無</p> <p>③ ヒヤリハット：18件 事故：5件</p>
8月3日(木) 16:30~17:10 役職者を対象とした虐待、身体拘束の研修	6名	<p>① 胃ろう自己抜去の方に対する対応方法の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の対応でよいのか。もっと他に方法はあるのか。 <p>虐待となるうる対応とは、身体拘束となるうる対応についてグループワークを通して個々の考え方を知り、そこから一般職につたえてゆく手段や方法を考える</p> <p>② グループワークを行い、虐待、身体拘束にあたるかもしれないケアについて再度確認し情報共有を図り他の職員への伝達を実施</p>
8月24日(木) 15:30~16:00	12名	<p>① 7、8月中のヒヤリハット・事故報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定入所者によるヒヤリハット・事故発生について ・異食、食品持ち帰り、センサーオフによる転倒事故について <p>② 要望：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者から家族を通して職員の言葉がきつくて怖いとの話があり、言葉使いについて改めて確認を実施 ・受付にて対応した職員の案内が不親切であった事に対し謝罪。言葉使いについて改めて確認 <p>③ ヒヤリハット：7件 事故：15件</p>
9月28日(木) 15:30~16:00	12名	<p>① 8、9月中のヒヤリハット・事故報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアマットの設定が本人の体重の3倍の設定であった→他のエアマット使用者の設定も再度確認 ・特定の入所者間のトラブルが続いている件で再度確認 <p>② 苦情・要望：無</p> <p>③ ヒヤリハット：11件 事故：11件</p>
10月26日(木) 16:00~16:20	9名	<p>① 9、10月中のヒヤリハット・事故報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一人物による入所間のトラブルについて ・転倒し左大腿部頸部骨折し入院手術となった件 ※行政に報告 <p>② 苦情・要望：無</p> <p>③ ヒヤリハット：13件 事故：10件</p>

10月26日(木) 18:10~19:00 悉皆研修	全職員	① 身体拘束、虐待の考え方について
11月23日(木) 16:30~17:10	9名	① 10、11月中のヒヤリハット・事故報告について ・皮膚トラブルの増加 ・新規入所者によるヒヤリハット・事故報告件数の増加について ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：19件 事故：8件
12月28日(木) 16:00~16:10	7名	① 11、12月のヒヤリハット・事故報告について ・特定の入所者間のトラブルが続いている件 ・皮膚トラブル（内出血）が増えている件 ② 要望：3件 ・入所者から家族を通して数日部屋が寒くて暖房が故障しているが説明がない→口頭での説明と暖房器具を用意し対応していたが、再度書面等にて伝達と防寒対策を実施 ・家族より面会時に夏ズボンをはいていたとのほうこくがある→早急に冬物を着用して頂き、衣類の確認を実施 ・家族より面会の際に誕生日プレゼントに鉢植えの花を持参したが、管理ができないと言われ傷ついた件については、配慮が足らなかったことを謝罪している。鉢植えの花は本人の見える場所に置き対応 ③ ヒヤリハット：8件 事故：12件 ④ その他 福祉保健財団主催の高齢者虐待防止研修に参加した内容を報告
R6年1月25日 (木) 16:40~17:05	8名	① 12、1月中のヒヤリハット・事故報告について ・原因不明の皮膚トラブルが増えている件 ・同一者によるヒヤリハット・事故報告が増えている件 ② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：19件 事故：8件
1月25日(木) 悉皆研修	全員参加	① 言葉による虐待（スピーチロック）について、また行動の制限をすることによる身体拘束についての動画視聴を実施 ② 虐待の芽チェックリストも実施
2月22日(木) 16:40~17:05	7名	① 1、2月中のヒヤリハット・事故報告について ・同一利用者による事故やヒヤリハットの件について

		② 苦情・要望：無 ③ ヒヤリハット：20件 事故：15件
3月28日（木） 16：45～17：00	7名	① 2、3月中のヒヤリハット・事故報告について ・ 同利用者によるヒヤリハット・事故について ・ 新規入所者によるヒヤリハット・事故について ② 要望：2件 ・ 入所者より同室者の出す生活音等が気になり眠れない →個別に話を聞く事で納得 ・ 入所者より同室者からいろいろ言われて辛い →居室変更し要観察を実施 ③ ヒヤリハット：11件 事故：10件

令和5年度 ヒヤリハット総数：247件 事故発生件数：218件 合計：465件
 苦情・相談 9件（入所者 6件、家族3件）

(1) 令和5年度 月別事故分析

発生月	発生内容															
	転倒	転落・ずり落ち	誤嚥	服薬ミス	皮膚トラブル	やけど	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	離設	職員の介助中	紛失・破損	その他	計
4月	1	3	0	0	6	0	0	1	1	0	0	1	1	1	5	20
5月	0	9	0	0	2	0	1	0	1	0	2	1	1	0	2	19
6月	2	4	0	0	7	0	0	0	0	2	5	0	1	0	2	23
7月	1	2	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	15
8月	5	2	0	0	8	0	0	2	1	1	0	0	0	0	3	22
9月	1	2	0	1	2	0	1	0	0	0	3	0	1	0	6	17
10月	2	5	0	0	3	0	0	2	1	2	1	1	1	1	2	21
11月	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	12
12月	7	2	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	14
1月	2	4	0	1	2	0	0	1	0	0	4	0	1	0	2	17
2月	3	4	0	0	3	0	0	0	2	1	2	0	1	0	3	19
3月	3	9	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	19
計	31	49	0	2	43	0	2	6	9	7	19	3	12	2	33	218

事故発生状況

(2) 事故（ヒヤリハット含む）種別年度比較

単位：件

内容 年度	転倒・転落			ずり落ち			その他		計	備考	
	ベッド	歩行中	臥床	移動	排泄	臥床	皮膚トラブル	その他			
4年度	8	13	3	5	4	36	98	398	565	通院 入院	15 2 件
5年度	18	28	10	23	30	32	105	219	465	通院 入院	11 3 件

令和5年度市区町村に届け出た件数は2件。内訳入院3件（転倒による骨折のため）

(3) 事故発生分析と予防対策

令和5年度は新規入所者の方のヒヤリハット・事故件数が多くみられ、また同一者によるヒヤリハットや事故が散見されました。

全体的に昨年度より100件件数が減少していますが、入所者間のトラブルが昨年度は2件だったものが27件と大幅に増加しています。これは、ご利用者間のディスコミュニケーションが起因しています。フロア内の導線を変え、視界の中での見守り強化、視界に入らないような食事席の工夫等対応しましたが、徘徊のあるご利用者のため対応に苦慮しました。フロア移動も検討しましたが、離設の危険もありフロア移動ができずフロア内で行える対応を実施しできるだけトラブルにならない様配慮を行いました。

また、今年度は見守り機器の見直しや椅子のセンサーを利用することにより昨年度より事故の発生件数を抑えることができましたが、使用方法によっては拘束となってしまうため情報の共有や対応策を都度検討しています。

また入所者の傾向として、身体機能が比較的高い位置で維持されているが認知機能面で重度な方の入所が多くあり、入所者の行動範囲が広がったり、能力の誤認による行動が見られています。また皮膚が弱く些細な刺激により剥離や内出血などの皮膚トラブルも昨年同様に多くみられています。一つの事故が複数の要因（認知症による能力の誤認から行動し、転倒した際に皮膚剥離等につながっていたり、介助中の注意事項の周知がなされていないことでの転倒事故、不眠による事故等）から成り、さらに初歩的なミスにより発生した事故やヒヤリハットも発生しています。事故後の対策に介護課・リハビリ課や看護課の他部署との連携を図ることで、身体機能やその他個々に応じたベッド環境や車椅子・ベッドの検討や見直しを行い、未然に防げる事故もありました。また、ケアプランにも反映できる様になりました。

更に昨年多く見られていたマットセンサー等の不具合・誤作動やON・OFFの確認漏れ等による事故は対策が整い今年は減少しています。

今後の課題として、引き続きの検討と対応強化、持続性を維持する必要があります。職員研修で感じたこと、学んだことを実践できるような仕組み作りも今後の課題となっています。また、ご利用者個々の特性を把握し、未然に防ぐ対応を共有できること、“気づき”をいち早くキャッチできるのかという点についてが今後の課題です。繰り返し学ぶことで自然と身につけられる様研修を行います。まず、“入所者の個々の特性を知ること”から始め、そこからどのようなケアが必要なのか、未然に防げるケアをヒヤリハットから学び、多くの気づきが生まれる様にしていきます。また、事故後は早急なフィードバックを行い、事故予防に繋げていきます。本年度の反省と課題を生かし、引き続き事故防止等に努めていきます。

(4) 時間別事故パターン分析

発生時間	発生内容															
	転倒	転落・ずり落ち	誤嚥	服薬ミス	火傷	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	離設	皮膚トラブル	職員の不注意	異物混入	その他	計
0時	1	0										2			1	4
1時	0	2										1			2	5
2時	0	1													4	5
3時	0	2					1					1			2	6
4時	2	1										1	1		4	9
5時	2	0										1	1		4	8
6時	1	4				1						5			7	18
7時	2	3		1					1				2		3	12
8時	2	6					1		1	2		5	1		10	28
9時	4	1		1					2	6		8	3		7	32
10時	2	3					5		2	4		17	2		12	47
11時	0	2		2				1		2		2	2	2	19	32
12時	2	1	1					1	1	2		4	2		13	27
13時	0	3								3		4			9	19
14時	3	4					1	1	3			14			16	42
15時	0	1		1		1	2	1		2		16	4		14	42
16時	0	6		1		1		1	3	1	2	4	1		3	23
17時	2	2	1					2				4	2		18	31
18時	3	3						1				7	1		13	28
19時	0	4					1			2		1			2	10
20時	3	3								3		1			1	11
21時	1	4										5	1		5	16
22時	1	1		1									1		3	7
23時	0	0													3	3
計	31	57	2	7	0	3	11	8	13	27	2	103	24	2	175	465

16-7

【身体拘束廃止委員会】【虐待防止委員会】【見守り機器等活用委員会】

身体拘束適正化委員会で高齢者虐待防止委員会、見守り機器等活用委員会も含め委員会を実施しました。その中で、リスクマネジメント、サービスマナー等についての確認や定期的にセンサーマット等のセンサー類が適切に使用できているのかの見直し、ベッド環境が個々に合ったものなのかを各フロアで確認し検討しました。またセンサー類や眠りスキャン等の不具合の有無や破損等の確認も行い、適切に使用できる様確認を行っています。

入所者やショートステイ利用者様も含みながら身体拘束や虐待についても確認し、定期的な研修を行いました。今年度は胃ろうを自己抜去される入所者がおりその方のケアのあり方や対応方法の検討を行い、身体拘束になるかもしれない対応について役職者を中心として研修を行っております。

今年度より椅子センサーの導入を行っています。能力の誤認がある入所者や立ち上がり後の歩行の第一歩にふらつきがある方を対象として各フロア2台導入し対応しています。

導入した事により職員が早めに対応できるようになりましたが、状況によっては身体拘束にも当たってしまう恐れもあり、使用については慎重に対応しております。

次年度の課題として、ベッドセンサー、眠りスキャン、椅子センサーを使用していますが、これらの使用状況をモニタリングし継続使用が必要かどうかを随時検討し、できるだけ使用は最小限にすることの検討を進めていきます。

入所者、家族から言葉使いについての指摘を受ける事が今年度は多くあり、言葉使いや相手に対しての配慮等について改めて身体拘束、虐待防止の研修、虐待の芽チェックリストの活用を行い、サービスの向上に努めてゆきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
4月27日(木) 16:10~16:35	11名	① 身体拘束適正化指針の見直しについて ② 身体拘束適正委員会・見守り機器等活用委員会・虐待防止委員会は3か月に1度開催する この中でセンサー等の使用状況の確認等を行った。 ③ 身体拘束・虐待にあたる事例は見受けられていない
7月27日(木) 15:30~16:00	12名	① ベッドセンサー、マットセンサーの使用状況の把握と検討について ② 見守り機器等活用委員会・虐待防止検討委員会も同時に開催 ③ 身体拘束・虐待にあたる事例は見受けられていない
8月3日(木) 16:30~17:10	6名	① 役職者を対象とした虐待・身体拘束の研修 ② 胃ろう抜去される方の対応について

役職者を対象とした虐待・身体拘束の研修		<p>※身体拘束、虐待には当たらないが現対応でよいのか、対応は他にないのか等の振り返り</p> <p>③この研修を通して他の職員への伝達</p>
10月26日(木) 16:00~16:20	9名	<p>① ベッドセンサー、マットセンサーの使用状況の把握と検討について</p> <p>② 見守り機器等活用委員会・虐待防止検討委員会も同時に開催</p> <p>③ 身体拘束・虐待にあたる事例は見受けられていない</p>
10月26日(木) 18:10~19:00 悉皆研修	全職員 対象	<p>身体拘束、虐待防止の考え方について</p> <p>パワーポイントを見ながら研修を実施した</p> <p>※参加できない職員については後日資料配布</p>
R6年1月25日 16:40~17:05	8名	<p>① ベッドセンサー、マットセンサーの使用状況の把握と検討について</p> <p>② 見守り機器等活用委員会・虐待防止検討委員会も同時に開催</p> <p>③ 身体拘束・虐待にあたる事例は見受けられていない</p>
R6年1月25日 ~2月末 悉皆研修	全職員	<p>① 言葉による虐待(スピーチロック)について、また行動制限するような声掛けや対応、身体拘束についても動画視聴を実施</p> <p>② 虐待の芽チェックリストも実施</p>

【サービスマナー委員会】

介護施設の仕事は対人関係が基本であり、「お客様」の心理を理解したうえで、ご利用者やご家族に喜ばれる、優しさと思いやりのある接遇ができなければなりません。

今年度、サービスマナー委員会では目標を立て、委員を中心に意識付けに取り組みました。日々の業務を割いての委員会の開催は難しく、下半期については未実施となりました。言葉遣いや態度といった基本的なマナーについて、ご利用者からの指摘もあり、再度接遇についての見直し、改善が急務となっています。

ご入所者様、ご家族様にとって居心地の良い生活空間が提供できるよう取り組み、基本的なマナーについて日々振り返りができるよう、職員一人ひとりが「敬う気持ち」や「おもてなしの心」を忘れることないよう発信し、研修を通して行っています。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
5月18日 16:35～17:10	4名	① 今年度の目標と活動について 目標：整容（きちんとした身だしなみ）を発信していく ② フロアの生花の扱いについて
7月		※業務の都合上、未開催 書面上で各自が確認を行った ① 入所者個々に合った衣類について
9月21日 16:10～16:45	4名	① 適切な行動や言葉掛けについて ② 食事のマナーについて（テーブルの環境への配慮、提供方法） ③ ご家族様へ衣類の準備をお願いする際の説明方法について ④ 介護職の接遇マナーについての振り返り
11月		※業務の都合上、未開催
1月		※業務の都合上、未開催
3月		※業務の都合上、未開催

16-9

【研修委員会】

研修は運営基準上実施が義務付けられている研修、スキル維持・向上を図る研修に分けて実施しました。今年度も引き続きコロナウイルス感染予防のため、基本的に集合での研修は行わずオンラインでの研修が主となりました。昨年度から引き続き映像視聴などによる机上研修の形式を採用するものもありました。

施設内研修

研修テーマ	参加職種・参加人数 実施日	研修講師 主な内容
職員用アシスト機器 HAL 装着体験会	6月8日 参加者：8名	サイバーダイン：貴志様
栄光の杜職員受け入れ	6月29日 参加者：9名 (先方6名)	・施設見学 ・意見交換会
食中毒予防研修		担当：管理栄養士 小澤
新入職研修	9月25日、26日 参加者：2名	担当：施設長 久保 事業計画・事業運営・就業規則・給与規程の説明。 リスクマネジメント・虐待防止・契約書の確認。 食中毒予防について 各部署事業説明
リスクマネジメント・ 身体拘束・虐待防止総 合研修	10月26日 参加者19名	担当：生活相談室 ・虐待の芽チェックリスト実施 ・ご利用者事例検討
介護業務中における腰 痛の原因と予防対策	12月13日 参加者：7名	講師：所沢ロイヤル病院 長島様 ・腰痛の原因 ・腰への負担を減らすには ・腰痛にならない体づくり
リスクマネジメント・ 身体拘束・虐待防止総 合研修	2月中 資料配布	担当：介護課長 吉野 ・事例検討と自身の振り返り 28/75名 ・虐待の芽チェックリスト 42/75名
感染症対応研修	2月中	担当：看護主任 磯崎 ・感染症対応のマニュアル確認

		・クラスターアンケート実施
褥瘡予防研修	3月中 参加者：32名 資料配布	担当：渋谷郁美 褥瘡に関する基礎知識 福祉用具の使用 スキンケアについて
新入職研修	令和6年3月1日、 2日 介護課1名	事業計画・事業運営・就業規則・給与規程の説明。 リスクマネジメント・虐待防止・契約書の確認。 食中毒予防について 各部署事業説明

施設外研修

研修テーマ	参加職種 実施日・参加人数	主催者 主な内容
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー研修	5月11日、12日 吉野課長	主催：東社協 ・キャリアデザイン ・リーダーシップ ・職員指導など
介護福祉士実習指導者講習会	4月19日、26日 5月14日、21日 地域貢献担当1名	主催：しかくの学校 ホットライン ・実習指導の方法と展開
専門調理師実技試験準備講習会	5月13日 栄養課1名	主催：日本病院調理師協会 ・資格取得のための調理作業
事務手続き研修	6月23日 事務長	主催：株式会社 CIJ ・給与改定について
生活支援の場の看護・介護リーダー研修	6月29日 ～2月15日 吉野課長	主催：七七舎 ・認知症ケア ・人材育成など
特別養護老人ホーム 栄光の杜 職員間交流研修	8月17日 職員3名	・施設見学 ・意見交換会
社会福祉法人正和会 交流研修	9月29日 施設長	・施設見学 ・意見交換会
特別養護老人ホーム	11月16日	・施設見学

第二青梅園 職員間交流研修	職員 4 名	・意見交換会
事務手続き研修	11 月 17 日 事務長	主催：株式会社 CIJ ・年末調整の事務手続きについて
特別養護老人ホーム あゆみえん 職員間交流研修	11 月 20 日 職員 4 名	・施設見学 ・意見交換会
高齢者虐待防止研修	11 月 28 日 生活相談員 1 名	主催：東京都福祉保健財団
東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	介護課 2 名参加、2 名 修了予定	主催：東京都福祉保健財団 12 月～3 月：苑内での実地研修
国際福祉機器展見学	職員 2 名	主催：全国社会福祉協議会
セラピードッグ研修	4 月～1 月にかけて 計 7 回 職員 1 名、ペコ	主催：国際セラピードッグ協会

16-10

【食事委員会】

偶数月第2水曜日に開催しました。

令和5年度は、『手作り料理を基本に安心・安全な食事の提供』を目標に活動をしました。

例えば料理クラブでは感染予防対策に伴い、開催の有無を衛生委員会で確認しご利用者が安全に楽しく実施できる様に検討しました。食事関係の備品の受け入れについては、要望通りに購入し衛生面にも配慮するよう協議しました。委員会は状況に応じての対応となりましたが、ご利用者が安心して召し上がれることを基本に考え、意見交換を行いました。

今後も目標達成には改善しなくてはならない課題があるため、各部署連携を取り利用者が満足でき、楽しめる食事提供を心掛けていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月13日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の目標 ・委員の役割について
6月	書面議決	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の目標 「手作り料理を基本に安心・安全な食事の提供」 ・研修の内容 ・食事の放送について ・料理クラブについて
8月14日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量記録のエネルギー食の対応 ・水分補給についての対応 ・研修の内容 ・料理クラブについて
10月	書面議決	<ul style="list-style-type: none"> ・予備食器について ・おはぎの提供について ・昼の放送について ・研修についての内容
12月	書面議決	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の器について ・研修について ・外注食について
令和6年 2月	書面議決	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の報告、まとめ ・今年度の反省 「手作り料理を基本に安心・安全な食事の提供」

16-11

【広報委員会】

広報委員会の主な活動として広報紙「やすらぎかわら版」の発行を行うことができました。季節に合わせた行事や外出などを取り扱い4回(4月、7月、10月、1月)発行することができました。今年度も引き続きご利用者の「笑顔」をテーマに写真をメインに掲載しました。ご家族や地域の方、入所申し込みいただいた方に配布することで苑での取り組みを発信することができる重要なツールとなりました。令和6年4月号は業務都合のため検討が行えなかったため、今後の発行に向けて再度内容や更新頻度を検討していく。

ホームページでは日々のご利用者の生活の様子を発信する「やすらぎ日記」を月に数回程度発信し、入所申込のための認知度拡大、職員の採用活動にも寄与しています。また、西多摩の特別養護老人ホームで組織し、入所申込のためのホームページを作成している「西多摩特養ガイド」の更新も行い、入所申込受付の場として役割を果たしています。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 6月22日	3名	・やすらぎ瓦版夏号の作成について
9月25日	4名	・やすらぎかわら版秋号の作成について
令和6年 12月20日	4名	・やすらぎかわら版冬号の作成について
3月	—	業務都合により中止

16-12

【排泄委員会】

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 5月10日	6名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して排泄ケアの向上を目標に研修内容の検討 ・各フロア未排便者一覧表の統一の
7月12日	4名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研修について。 職員よりおむつの当て方が気になるとの声もあった。 外部研修としてどのような研修があるのか？白十字へ問い合わせをする。 ・暑い季節となりムレやすくなる為、清潔保持に努めていく。体位変化はしっかり行うよう発信。
9月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で使用しているパットの見直し。 ・研修内容について白十字よりおむつの当て方 陰部洗浄（尿路感染予防） ノロウイルス食中毒の感染症対策があるとの事。 （資料頂く。）
11月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・購入物品 シャワーボトル、清拭保冷バック1万の購入金額になる為、起案書を作成。 ・白十字による研修を検討 感染予防、褥瘡予防として陰部洗浄の実施予定
令和6年 1月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内クラスターの為、白十字による研修は見送り 資料配布。
3月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返り

16-13

【マニュアル策定委員会】

マニュアル策定委員会が中心となって、各委員会、各課手順書の継続的な見直しを行ってきました。手順書を作成するにあたって、詳細に順を追って示し、見れば誰でも同じ業務ができるよう読み手を意識した手順書の改善に取り組んできました。次年度も定期的な手順書の見直しを行い、業務の効率化を目指していきます。

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 5月11日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告 ・介護課 3階各勤務形態の手順書更新 [管理番号 1-7] 早番業務 [管理番号 1-8] 早番業務 [管理番号 1-9] 遅番業務 [管理番号 1-10] 日勤リーダー業務 [管理番号 1-11] 日勤業務 [管理番号 1-12] 夜勤業務 令和5年4月1日より運用開始する。
7月6日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告
9月7日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告 ・介護課 [管理番号 1-36] 短期入退所の手順書更新 令和5年9月1日より運用開始する。
11月2日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告
令和6年 1月4日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告 ・介護課 [管理番号 1-35] 特養入所の手順書更新 令和5年12月14日より運用開始する。
令和6年3月7日(木)	サイボウズにて 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・各課進捗状況の報告 ・看護課 [管理番号 2-1] フリー業務 [管理番号 2-2] リーダー業務 [管理番号 2-3] 早番業務 [管理番号 2-4] 夜間待機

		<p>[管理番号 2-5] バイタル測定</p> <p>[管理番号 2-6] 吸引</p> <p>[管理番号 2-7] 処置</p> <p>[管理番号 2-8] 経管栄養(胃瘻増設者)</p> <p>[管理番号 2-9] 感染症予防対策</p> <p>[管理番号 2-10] 服薬管理</p> <p>[管理番号 2-11] 急変時の対応</p> <p>[管理番号 2-12] 診察介助</p> <p>[管理番号 2-13] 歯科検診</p> <p>[管理番号 2-14] 健康診断</p> <p>令和6年3月9日より運用開始する。</p>
--	--	---

16-14

【行事委員会】

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの流行や施設内でのクラスターにより、地域・家族・ボランティアが参加できる行事を縮小もしくは中止する事がありましたが、令和4年度よりも規制の緩和もあり少しずつではありましたが新型コロナウイルス感染症流行以前の内容に戻せる道筋も見えてきました。他施設交流や地域行事(自治会、祭り)も制限のある中での参加や情報共有に留まりましたが、引き続き地域に根付いた施設として交流事業を行います。新型コロナウイルスやインフルエンザ流行のため計画通りの実施が難しかったですが、計画書7日前・各フロアの動き3日前・報告書7日後までの提出を目途に運営しました。各行事、人員が少ない中、足りない部分を各部署で補い合い協力をして行う事ができました。

実施行事一覧

月	行事名	開催日	参加人数	実施内容
4月	春の自然散策	5日	4名	青梅市 花木園 桜や季節の花を鑑賞しながら散策を楽しむ。
5月	端午の節句	4/23～ 5/7	29名	1階多目的ホールに飾ってある兜と写真を撮る。
	青梅大祭	2日	3名	理事長宅にて山車や囃子の賑わいを楽しむ
	つつじ見物	11日	4名	青梅市わかくさ公園 午前中はつつじを見られたが午後は雨の為、青梅市、飯能市周辺をドライブ
6月	アジサイ見物	5日	4名	青梅市わかくさ公園、飯能市龍崖山公園周辺ドライブ
	梅の実もぎ	16日	3名	職員がもいだ梅をバケツで受け取ったり、高枝切ばさみを使って梅を収穫した。 久保理事長宅、吉野課長宅にて梅の実の収穫。

	梅ジュース、梅干し作り	29日	16名	梅の実を洗い、穴をあけ塩や氷砂糖に漬ける。 季節の物に触れる、匂いを嗅ぐ、見る等で季節を感じ他者と交流を行う事で気分転換を図る
7月	七夕飾り	1日 ～7日	全利用者対象	短冊に願いを書き笹に飾り、一緒に写真を撮り、季節を感じた。
8月	夏祭り	5日 6日	全利用者対象	新型コロナウイルス感染症対策の緩和もあり、1Fでの飲食の出し物としてわたあめの実施、くじ引き、フォトコーナー、ポッチャボウリングを開催する。また、以前に夏祭りで演奏を依頼した狭山グリーン太鼓さんに再び来ていただく。以前とは違い熱中症対策をしながら駐車場で演奏をしていただき、ピロティや各階のベランダから鑑賞した。
9月	敬老祝賀会	6日	全利用者	新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も各階での開催となる。挨拶は今回は2F吉野課長、3F施設長にて挨拶を行い、職員全員で賀寿者のお祝いをしていただく。今回も家族の参加は見送りになったが写真撮影や祝い膳に舌鼓を打ちながら和やかに過ごしていただいた。
11月	文化祭	1日	37名	昨年同様にコロナ感染症対策として2階3階の時間をずらし2回に分けて行いました。 職員によるお琴、太鼓の演奏の鑑賞や古典芸能である2人羽織、皿回しも披露し大いに盛り上がった。 新型コロナウイルスの影響で外部からの見学者の受け入れはできないが、感染対策を行いながら実施。

	焼き芋会(2階)	22日	37名	1階多目的ホールに降り、新聞紙とアルミホイルで芋を包んでもらう。包んでもらった芋を多目的ホールの外に出て炭が入ったドラム缶に入れて、焼けていく様子を見ながら外の冷たい風や焚火の暖かさを肌で感じて季節感を味わいました。 ・焼いた芋はその日のおやつ時に提供し、全利用者が召し上がりました。
	焼き芋会(3階)	29日	33名	今年度はコロナ感染もなく1階多目的ホールにて新聞紙、アルミホイルで芋を包み、火をくべたドラム缶へ芋を入れて頂くことができた。 職員が焼いた芋をおやつとして提供。
12月	クリスマス会	20日		今年度はコロナ感染もなく実施。栄養課の協力により2種類の手作りケーキを振る舞う。各フロア職員、ご利用者がクリスマスの衣装を着たり写真撮影をしながらゆっくりした時間を過ごす。
	年末イベント 2023年	31日		インフルエンザ発症者が拡大していたため、イベントの開催は中止となる。
1月	正月イベント (2階)	11日 ～31日	10名	インフルエンザ発症の影響でイベント内容、開催日を変更して行う。多目的ホールに設置した神社へ初詣を行う。 業務が逼迫しておりお連れできる機会が少なく極端に参加者が少なかった。
	正月イベント (3階)	11日 ～31日	8名	インフルエンザ発症の影響で変更して行う。多目的ホールに設置した神社へ初詣を行う。 マンパワーの不足により業務が逼迫しておりお連れできる機会が少なく極端に参加者が少なかった。

2月	節分祭	2, 3日	40名	1階多目的ホール、職員食堂にて2日間使用し豆まきや写真撮影を行った。
3月	ひな祭り	2/15～ 3/5	67名	1階多目的ホールにて雛人形を設置し写真撮影やひな祭りの思い出話を楽しんでいただいた。また、3/3にはひな祭りの行事食も楽しんでいただく。
	観桜会	4/1～14	全利用者	ベランダや1階多目的ホール外へ出て春の陽気や香りを感じ、桜や景色を愛でながら写真撮影を行う。天候の良い日に多くの職員の協力のもと写真撮影やホーム喫茶を利用して桜を眺めながら茶菓を楽しむなど工夫を凝らして行うことができた。また、栄養課の協力で春にちなんだお菓子の提供をする。

16-15

【入浴委員会】

一般浴室・機械浴室共に必要物品の整理整頓を行い、脱衣所・浴室の環境を整え、感染症対策を行いながら事故なく安全に入浴して頂けるよう努めてまいりました。

また今年度、入浴用のクッションを購入し、リフトでの座位が不安定な方やストレッチャーにて仰臥位保持が困難な方に使用し、姿勢保持することでより安全に入浴介助が行えました。

次年度も引き続き安全面に配慮し、より快適な入浴時間を提供できるよう努めます。また今年度は十分に季節湯が行えず、楽しみにされているご利用者には申し訳なく、心残りに思います。次年度にはしっかりと計画を立て実施して参りたいと思います。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年4月12日	5人	<ul style="list-style-type: none">・目標、課題について・しょうぶ湯の実施について・マニュアル見直しについて・入浴後の爪切りが出来ていない件について・入浴場での眼鏡や腕時計等の貴重品を入れる容器について(紛失する事が増えている為)
令和5年6月14日	書面にて開催	<ul style="list-style-type: none">・一般浴室の移動式の棚について・貴重品入れについて・入浴時でのケア用品について・機械浴室での移乗方法について・入浴できなかった利用者への対応について・入浴介助時の職員の補水方法について
令和5年8月9日	6人	<ul style="list-style-type: none">・機械浴室での移乗方法について・新しく購入した着衣用ストレッチャーの使用感について・シャンプー等のケア用品について・研修について・入浴用クッションについて・一般浴室脱水機について・職員の補水用水分について

令和 5 年 10 月 11 日	書面にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴の順番の一部変更について ・研修について ・利用者の入浴後の水分補給について
令和 5 年 12 月 13 日		業務上の都合により、開催出来ず。
令和 5 年 2 月 14 日	書面にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修について ・洗濯場にヘアブラシが混入してしまった件について ・ボディソープの容器が不足している件について ・ボディソープについて ・今後の課題について

16-16

【口腔ケア委員会】

口腔ケアは、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔内の機能を維持し QOL の向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上にもつながる重要なものです。当施設においては、自力で口腔ケアを行うことが困難な方や自力で口腔ケアができて加齢と共に十分な保清動作ができず、口腔内が不衛生になったり、機能的に低下したりしていくリスクを抱えた方が生活されています。個別の状況に応じた支援をするためには、チームによる口腔内状態の評価や適切な口腔ケア技術、口腔機能を維持する為の知識の向上に努めていく必要があります。

歯科医師からの指導や助言をもとに口腔委員が中心となって情報を発信していき、職員の知識と技術の向上を目指し、口腔衛生の維持・改善に努めております。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 5月10日(水)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアに対する課題について ・今年度の目標について ・口腔ケア研修について
7月12日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修について ・もとえデンタルクリニック受診の際のケース記録の方法について
9月13日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度下半期分の口腔ケア用品の発注について ・口腔清掃指導について
11月8日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアで保管していた不使用の義歯について ・口腔清掃指導について
1月10日(水)	—	・業務の都合にて開催出来ず
3月13日(水)	サイボウズ上にて開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修について ・口腔衛生管理に係る助言・指導内容について ・次年度の委員への引き継ぎについて

【感染症対策委員会】

第4木曜日午後に開催しました。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、予断ができない状況が続き、施設内感染に備え防護服着用方法の研修会を行い徹底してきました。年2回、感染症に関する研修会、防護服研修、食中毒研修会を開催し再確認を行ってきました。年間を通して感染症への対応、予防対策について協議してまいりました。

ご利用者、ご家族には不自由をおかけしていますが、ご家族の理解を求め面会の制限をさせていただき、また外部の施設内の出入りも最小限にして感染予防に努めました。

ご利用者の健康管理の徹底と職員による感染持ち込みを防ぐために職員の健康管理、体調不良時の休暇体制を整えたり、検査体制を充実させてきました。また定期的に検査を行い感染予防対策に努めました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月27日	12名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナウイルス感染症への対応・対策について年間を通して継続 *換気設備の検討(建物内空気環境調査施行) *利用者ワクチン接種5月に予定 *インフルエンザ感染症について(発症事例あり)
5月25日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *施設内で面会再開について *インフルエンザ感染拡大中、注視 *新型コロナ感染症クラスターのまとめ、事業報告 *感染症対策再確認
6月22日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染症対策、熱中症対策について *インフルエンザ、麻疹の感染状況注視 *食中毒について「管理栄養士の研修」予定
7月27日	11名	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナ感染症以外の感染注視 *利用者体調不良者の対応について(脱水予防)
8月24日	8名	<ul style="list-style-type: none"> *感染症対策継続 *管理栄養士の食中毒研修について *新型コロナ感染予防対策の見直し(5類に変更) *利用者の新型コロナワクチン接種について
9月28日	7名	<ul style="list-style-type: none"> *その他の感染症拡大について *インフルエンザ予防接種について

		<p>感染拡大しているため早めに調整</p> <ul style="list-style-type: none"> * 感染時の休暇について検討 * 新型コロナワクチン接種について
10月26日	8名	<ul style="list-style-type: none"> * インフルエンザ予防接種について 早期の感染報告あり 10月6日以降職員開始する * 利用者新型コロナワクチン接種(10月20日 72名施行) * 加湿器設置について * ガウンテクニック研修予定 * 職員感染症発症時の休暇暫定版掲示
11月23日	8名	<ul style="list-style-type: none"> * インフルエンザ予防接種施行中(流行拡大中) * 食中毒感染流行あり注視する * 加湿器設置
12月28日	8名	<ul style="list-style-type: none"> * 各感染症流行あり、体調不良時は出勤控えて * 感染予防対策徹底 * 施設内インフルエンザ感染者報告、注視する
令和6年 1月25日	8名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症拡大中、職員感染あり注視 * インフルエンザ感染流行拡大あり注視 * 施設内インフルエンザ感染者 20名、終息 * 眠りスキヤンの設定について 体調不良者の早期発見に役立てる為 * 感染予防対策振り返りについて
2月22日	7名	<ul style="list-style-type: none"> * 施設内感染症発症後の振り返り研修、アンケート実施 * 職員感染者の自宅待機期間の変更について
3月28日	8名	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナ感染症 PCR 検査 3月21日で終了 * 感染症予防対策継続 * 感染症自宅待機について次年度から変更 * ショートステイ入所の対応方法変更について

【インフルエンザクラスター経過報告】

R5年12月28日、05:50 利用者A様の転倒事故があり、夜勤介護職員Y氏が転倒事故の対応を行う。その時に熱39.1℃の発熱があり、待機看護師からコロナ内服指示がありコロナ(300)を服用する。日勤看護師にその旨報告し、新型コロナ抗原検査、インフルエンザ抗原検査施行。インフルエンザA(陽性)の判定あり、利用者A様の感染予防対策を取り隔離対応とした。同室者の居室変更を行い1人隔離対応としました。

唾液飛沫の多い方で早朝の事故対応の為、職員Y氏はその後もスタンダードプリコーションをとりつつ、他利用者の食事介助等にあたり通常業務を行う。

12月30日、潜伏期間を経て利用者A様の食事席付近の利用者、職員Y氏が食事介助を行った利用者様等、計7名が発熱、インフルエンザA(陽性)となり、透析通院をされている利用者と同室の利用者B様も罹患されたため、利用者B様をA様の居室に移動、重度COPDの利用者C様と同室の利用者も感染となった為、利用者C様を個室に移動しインフルエンザ罹患者と同室にならない様に配慮した。また、大きな移動はせずに最小限の移動で対応としました。

その後、R6年1月1日に利用者A様の対応をした職員Y氏が感染、2F職員スタンダードプリコーションの徹底をはかるが、ひも付く様に1月2日までに利用者計20名、職員計6名がインフルエンザA感染となりました。

1月2日以降、2F南側、職員の居室間移動をガウンはそのまま移動可としたが必ず感染していない利用者の居室からケアに入り非感染者から感染者のケアを行う事を徹底し、Iケアごとに手袋交換、マスクを正しく使用をすることを指導しその後の感染拡大は防げたと思います。

利用者は感染判明後すぐに治療薬服用にて軽快されるが利用者2名の方がインフルエンザ感染関連死となり逝去されました。

職員に関しては5日間の自宅待機をしていただき軽快後に出勤となりました。

R4年末の新型コロナ感染、今回のインフルエンザ感染を経験し、介護福祉施設では大きな居室移動はあまり効果がないのかと思いました。逆に感染により重症になると思われる方や治療に支障が出ると思われる方を保護する対応をとる事が重要なのかと思いました。

幸い、年末年始にかかわらず、産業医や協力医療機関、薬局の協力があり、品薄と言われていた検査キットの確保や内服薬の手配、必要に応じて点滴をする事が出来たことは良かったと思います。

職員間の情報の共有は難しい面がある事も再認識されるようなアンケート結果もありました。正しく伝わらない事、受け取り方の意味合いの違い等がある様な気がします、忙しい中大変だとは思いますがその場で理解できるよう聞くことも大事なんだと思います。今後、防護具の使用目的、着用方法を正しく理解していただき、感染拡大時に生かしていただきたいと思っています。

【感染症研修アンケートまとめ】

*出来ていたこと

- ・スタンダードプリコーションの徹底(利用者を守る、自分を守ること)
- ・定期 PCR 検査の提出
- ・持ち込まない事を意識していた(感染の3要素が出来ていた)
- ・1ケア1手洗い(消毒) 常にアルコールを持ち歩くようにしていた。
- ・ガウンテクニック
- ・口腔ケアの後、外した手袋の中に歯磨きティッシュや排痰したティッシュを中にくるむように外し捨てていた。
(ごみを捨てる職員が触れることが多いので気を付けていた。)
- ・感染するかもしれない。と意識しての行動。
(人混みに行かない。免疫を高める工夫。距離感に気を付けていた。など)
- ・利用者の普段と違う様子などの観察と報告。
- ・自身の体調管理。体調不良の時は出勤を控える。
- ・身だしなみ。セルフケア。
- ・帰宅後も手洗い、うがいを必ず行うようにしていた。
- ・食器類とケア用品を別々に保管。
- ・作業が変わるたびに手袋の交換。
- ・こまめにアルコールで手指消毒、使用する物の消毒を心掛けていた。

*出来ていないと思うこと

- ・換気
- ・2枚重ね下マスクのずれを直そうとした時に口元に触れてしまった。
- ・アルコール消毒を常に携帯していなかった。
- ・アルコール消毒、手荒れが気になり手袋の上からは消毒したが直接は極力しなかった。
- ・身だしなみが出来ていなかった。(手のケアが出来ていなかった。ネイルを気にしていなかった。ネイルをしていた、している人がいる。)
- ・ガウンを着た時にひもを前で結んでいる人がいた。
- ・ガウンをきたまま DR を歩いていた人がいた(使用前、使用后かわからなかった)
(この2例に関しては声をかけと確認をしていきたいと思った。と反省文がありました)
- ・衛生面を考え床頭台の周りの汚れが目立った。ベット周囲のほこりなど人手不足でなかなか掃除が出来なかった。
- ・利用者の周りの物を触れた後の手指消毒が出来ていなかった。
- ・コロナ、インフル感染を経験し過剰に防護具を使用してしまった(使用目的の理解不足だった。)
- ・ゾーンの徹底が出来ていなかった(あやふやなまま仕事についていた)

- ・アルコールを継ぎ足しにしていた(洗浄、乾燥をせずに足していた)
- ・食事介助の時に、途中で他利用者の食器を配置替え、一部介助を行う、アルコール消毒をしてそのままケアに当たる。またアルコール消毒をして解除していた利用者に戻ってケアをする。
- ・時々素手で対応することもあった、利用者の行動が早くて手袋の装着が間に合わず素手で対応することもあった。
- ・手袋の交換するタイミングが出来ていなかった。
- ・1ケア毎の手洗い、手袋交換だけで次のケアをしていた。
- ・手洗いが雑なことが多かった。
- ・1回1回の手洗いの時間が短くなってきている。
- ・周囲の影響がありグレーになっている。
- ・仕事着のまま外出していた。
- ・感染者がいないと消毒など簡単に済ませてしまう。
- ・手すりやテーブル、職員が手薄になると十分に出来ていなかった。
- ・歯ブラシコップの管理。
- ・利用者の手指消毒、手洗い。
- ・慣れてきたころは検温の機械の前を素通りする人を見かけた。
- ・布エプロンの洗濯、毎日洗濯できていない、1回/週。
- ・感染者の体調管理について細かな観察。いつもと違う反応早期発見できなかった。普段の生活で利用者の様子を把握しておくことが大切であると感じました。
- ・N95マスクの着脱が良く分かっていなかった。
- ・現場に入る際は手洗いをしているが、違う作業ごとの手洗いが中分ではなかった。
- ・防護服の着脱、マスクの着用方法を普段から把握しておく必要があると感じました。

*疑問に思ったこと

- ・N95マスクの再利用について
- ・2階、3階の対応が少し違うことが不思議です。
- ・役職者の認識が違う為、二転三転している。
- ・今まで防護具対応時、2重手袋でしたが今後陽性者が出た時、防護具対応の際、施設方針はどうなるか。手袋の着脱がスムーズにできる方法をしたい。
- ・介助にあたる際、職員が座る椅子の消毒、入居者の座る椅子の消毒はどうなっているのか。
- ・居室の洗面台の清掃やトイレ使用後の便座の消毒はどうなっているのか。
- ・感染者が出た時の居室移動は必要なのか。
- ・現段階でアクリル板は必要なのか。インフル等持ち込んでしまうのは外からなので、利用者同士では必要なのと思ったことはある。

- ・以前、コロナウィルスはマスクをただけでは防げないと聞いたことがある、本当か。
- ・予防接種の義務感。今後のワクチンの有無
- ・2階のインフル拡大の際、201～207号室までガウンの脱ぎ着はしなくても良い、と発信があったが、各部屋ごとに着脱はすべきだと思う。
- ・発熱者の対応でフェイスシールドはするけれどガウンはしなくてよい等、判断基準がわからない。
- ・職員は抗原検査(陰性)になるまで自宅待機をしていたが、利用者は(陽性)反応が出ても日数が経てば解除されていた。その差がわからない。
- ・終息後、他部署の意見をまとめて反省、振り返りの機会を設けた方が良いのでは。

【研修アンケート結果 まとめと振り返り】

「出来ていたこと」、「出来ていなかったと思うこと」で皆さん、スタンダードプリコーション出来ていると思う反面で細かな面で不安に思い出来ていなかった、と回答が多かったような気がします。特に手指消毒、手袋の交換に関して出来ていないと感じた方が多く見受けられました。少数意見ではありますが、身だしなみ、セルフケアについては新たに意識していただいた方がいました。指輪(大切な思い出)についても今後、意識して手洗いの時にきれいに洗いたいと思う。との意見もあり、研修により一つ学んでいただけたと思います。ネイルやアクセサリは華美にならないものであれば可となっています。引き続きセルフケアを意識していただければよいかと思います。

今後、機会を見て基本予防対策の研修は定期的に行きたいと思います。

「疑問に思う事」に関して

- ・N95マスクの再利用に関して保管方法をきちんと示したうえで、1日の再利用で特に問題はないと思います。
- ・2重手袋に関してガイドラインでは「推奨しない。」となっていました。感染予防対策として、施設方針で2重手袋は可。となりました。ただし感染蔓延時に可、必ず交換は必須です。上1枚だけ交換では手袋に穴が開いている場合等、感染が防げなくなります。目的使用方法をきちんと理解したうえでお願いします。普段の業務は1枚で都度交換をお願いします。
- ・2階、3階の対応の違いに関して、初のコロナウィルスクラスタで3階からの発症、日々の変化の中で委員会で決めていたことも実際に動いてみると無理が生じてくるものが多く、日々検討、学んでいく事が多く、また利用者の生活が違うことから対応の変化も求められることが多かったと思います。発信の遅れや周知がスムーズにいかない事は今後対応策の検討と思います。

新型コロナ蔓延の反省から、再度委員会での感染症対策の見直し、検討が求められると思います。(再度コロナウィルスクラスタ後の職員アンケート、対応策のまとめを添付

します。参照をお願いします)。

- ・椅子やトイレの消毒については、使用后(特に手すりの消毒)都度消毒、と委員会から発信していたが周知が出来ていなかったのか、再度周知の難しさを感じます。
- ・アクリル板に関しては、むせ込みで唾液を飛ばす方の対応を検討しつつ随時取り外していくこととなっています。
- ・マスクで感染症を完全に防ぐことは難しいと思います、特に新型コロナウイルスはマイクログウィルスの為、当初はマスクでは防げない、フェイスシールド、防護服着用と言われていました。今は感染予防対策として目的や着用方法を理解したうえで、ある程度防げるとしてマスクの着用は推奨されています。

またフェイスシールドは咳やくしゃみで飛び散った唾液などの飛沫から目の粘膜を保護する為に使用します。

ガウンは介護者が血液、体液その他の病原で体汚染される事を防ぐために使用します。これらの目的から発熱者の対応にガウンまでは着用しなくてもよいとしました。ただ発熱者でも消化器症状がある時は使用を推奨します。

- ・居室移動に関しては新型コロナウイルス感染症の時は特に 3 階の発症時には、抑え込むことを考え大幅な移動をしましたが、2階に感染が広がり居室移動をしてきたが、新型コロナ感染症は空気感染の為、大幅移動をしても感染は食い止められないと感じました。これも大きな学びだと感じます。

2階のインフルエンザ感染症の時は大きな居室移動はせずに、感染を防ぎたい利用者個室に移動していただいたり、4人部屋でも感染を持ち込まない様に感染の可能性のある方だけを居室移動したりと工夫をしてきました。これは COPD(慢性閉塞性肺疾患)の利用者や透析通院乃利用者に感染を防げた一つの成果だと思います。

- ・インフルエンザ感染症拡大の時、途中からインフルエンザは飛沫感染、接触感染を考え 201~207 号室迄ガウンの交換なしでケアにあたってくださいましたが、ガウンの使用目的を理解し、フロア全体で感染されていない利用者を先にケアを行い、その後に感染者のケアにあたる。事を指導し、もちろん手袋は都度交換は必須としています。このような対応で、その後の感染拡大は抑えられていました。今回の意見で、感染症の理解、個人防護具の目的を正しく理解していただく事が大切だと思いました。
- ・新型コロナ感染症は 10 日間、感染する可能性がある。とされていてそれ以降に陽性となる場合はウィルスの残骸が反応していると事があり感染の能力はないと考え、利用者はある程度の日数で解除しました。職員に関しても陰性になっても症状のある方に関しては 10 日間まで自宅待機としました。それ以降の休みは体調が回復しない等の理由で休んでいた職員もいたと思います。
- ・今後のワクチン接種については国の方針に基づき希望者に接種していく事を検討しています。
- ・反省、振り返りを今回のアンケートを参考に対応策をまとめたいと思います。

16-18

【防災委員会】

本年度は吹上自治会との合同防災訓練を実施することができました。しかしながら、応援協定書の更新には至っておらず、引き続き内容検討と更新に向けての話し合いを続けていく予定です。

今後 30 年以内に南海トラフ地震、首都直下地震、富士山噴火等大災害が予想されています。それらに対応し可能な限り被害を少なく抑えるためにも防災訓練は非常に重要な意味を持ちます。緊急時に対応できるよう役に立つ防災訓練、知識の習得が今後の課題となります。あわせて事業継続計画（BCP）の見直し、更新を行いながら職員への研修が必要となります。本年度の課題として職員に対しての防災活動の研修、周知が不足していたため災害時の避難誘導、消防対応など職員への研修もあわせて実施していきます。

防災訓練実施内容

実施日	参加人数	訓練内容
12月3日	職員3名 吹上自治会 7名	火災発生時の避難誘導訓練 非常階段を使用しての車椅子利用者の誘導方法 避難経路の確認 非常時の設備説明、非常食の配布を行った。
令和6年3月	事務4名 宿直3名	誤作動時の停止訓練

16-19

【IT委員会】

今年度、IT委員会としての大きな活動は行わなかった。PC機器の不具合には都度対応し、デジタル機器の購入は行っていない。介護記録ソフトほのぼのやグループウェアサイボウズ office の活用は情報共有の要となっているため、より使いやすさを考え使用方法を検討していく。

令和6年度より介護保険制度にもとづき、生産性向上員会の設置が猶予期間を設け義務付けられるため、IT委員会の業務内容を移管することとなる。

16-20

【業務改善推進委員会チーム】

主に必要物品の購入と提案内容の検討を行いました。役職への提案方法がうまく確立できず、主に物品の購入となり業務内容の提案をすすめることができませんでした。また、腰痛予防機材としてHALを試用し、採用とはならなかったが、使用しながら業務を行ったり、体験したりすることができいい経験をする事ができた。

しかし、会議前に議題を募り、サイボウズ上で共有し会議前にサイボウズ上で意見交換をすることができるようになった。2年の短期的に業務改善を行う予定でしたが、今年度まとめた提案内容を役職に引き継ぎを行い、1年間で業務改善推進チームの活動は終了することとなった。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年4月28日(金)	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設方針について ・取り組みについて ・物品購入について
令和5年5月26日(金)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・会議日程について ・取り組み内容について ・非常勤雇用について
令和5年6月23日(金)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境について ・サービス内容について ・HALについて
令和5年7月28日(金)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・取り組み内容について ・HALについて ・物品購入について
令和5年8月25日(金)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・取り組み内容について
令和5年9月22日(金)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・取り組み内容について ・物品購入について
令和5年10月	—	・業務都合で未実施。
令和5年11月24日(金)	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・取り組み内容について ・物品購入について

令和5年12月22日(金)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・取り組み内容について ・物品購入について
令和6年1月26日(金) (サイボウズ)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・提案内容について
令和6年2月23日(金)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・提案内容について
令和6年3月22日(金)	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項について ・提案内容について ・振り返り

16-21

【介護会議】

事前に議題を募り、各フロア・委員会・他部署からの意見や要望について協議を行い、利用者サービスの向上に展開していけるように話し合いを行いました。検討内容によっては他部署の役職にも協力して頂き、部署間の調整・連携を行いながら決定していきました。介護会議としては月に1回の開催になりますが、早急に対応が必要な議案は都度対応を行っています。

ご利用者の対応を優先し会議として集まっての開催を見送る事もありましたが、サイボウズなどのツールを使用することにより職員が直接集まらなくても会議として成立するような対応を実施しました。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月6日	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスマナー委員会の開催について ・衣替えについて ・布団の入れ替え予定について ・ご利用者の整容について ・ホーム喫茶の実施にあたって ・委員会の議題収集・発信についてサイボウズを利用する事について。
5月11日	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼのネクストの日誌確認について ・ご利用者の誕生日のお祝いの仕方について ・情報共有で使用しているノートのほのぼのネクストへの移行について ・ご利用者の新型コロナウイルスワクチン接種について ・眼鏡・腕時計などの管理について ・ホーム喫茶参加ご利用者のリストアップについて ・ホーム喫茶対応(介護課)について ・新入職員について ・衣類販売について
6月1日	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・施設調査票について ・役割分担表の予定項目について ・食事下膳について ・介護士ができる医療行為・でない医療行為

		<ul style="list-style-type: none"> ・午前の入浴について ・各委員会の開催について
7月1日	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・介護士が行える医療行為・行えない医療行為 ・ほのぼのネクストの水分の項目変更について ・事故報告書・ヒヤリハットのペーパーレス化 ・ほのぼのネクストの『事務連絡』『指示』の宛先について ・脱水予防について ・紙おしぼり、ペーパーナプキンの検討について ・LIFE の入力について
8月3日	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員について ・職員募集について ・入浴介助へ向かう際の恰好について ・喀痰吸引の研修について ・体位変換、体位交換の表現の統一 ・紙おしぼりの導入について ・ご利用者の様子観察について
9月7日	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・未排便者のリストアップについて ・非常勤職員のサイボウズアカウントについて ・入浴に携わる職員について ・夜勤所億院が仮眠で使用する布団について ・新入職員について ・新型コロナウイルスワクチンについて ・希望休について
10月	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の体調不良による面会の中止について ・ご利用者のエプロンについて ・整容おしぼりの不足について ・坂本介助員の介護課への携わり方について ・紙おしぼりについて ・ご利用者の生活空間についての注意点 ・整容タオルについて
11月	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の購入について ・夕食時の水分(スポーツドリンク)について ・配茶(夕方)の時間について ・勤務表の予定欄について ・年末に向けての居室の掃除について

12月	サイボウズにて	<ul style="list-style-type: none"> ・元旦のご利用者の昼食について ・年末年始の入浴について ・床清掃について ・遺品整理について ・ショートステイご利用者の衣類洗濯対応について ・おやつを提供量について ・リハビリ課のフロア所属について ・福祉系専門学生の受け入れについて
令和6年 1月	サイボウズにて	<ul style="list-style-type: none"> ・紙おしぼりへの変更について ・とくしまる(移動販売)の対応について ・入浴で使用するバスタオルについて ・2024年度の委員会割り当てについて ・ねむりスキャンの心拍・呼吸の移乗時の通知設定について
2月1日	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・紙おしぼりへの変更について(スケジュール) ・令和6年度事業計画書について ・「身体拘束、高齢者虐待に関する研修」について
3月	サイボウズにて	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員について ・新年度介護課役職人事について ・委員会人事について

16-22

【介護課フロア会議】

2F

令和5年度におきましても人員の確保が困難であったり新型コロナウイルス、インフルエンザの発生に伴い対面での開催ができないことがありました。サイボウズを活用し対面ではなくサイボウズ内で議題を募り検討することにより毎月の会議の継続していき開催日以外でも検討、決定を行い迅速に対応できました。

限られた時間の中でも充実した会議を行っていきたいと考えております。そのために日々のご利用者の対応や業務について満足することのない様、各職員が疑問や気付きを持つことが大切だと思います。今後も決定した内容は情報共有を行い同じ意識のもと向上心を持って取り組んでいきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和5年 4月19日(木)	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ストマ内の洗浄について ・新規入所者の入浴場の名札作成について ・フロア移動について
5月17日(水)	4人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ヒヤリハット・事故報告について ・皮膚トラブルについて ・食事対応の見直し ・ご利用者の対応について
6月21日(水)	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ヒヤリハット・事故報告について ・ご利用者の対応について
7月19日(水)	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ヒヤリハット・事故報告について ・整容について ・ご利用者について ・ヒヤリハット・事故報告書のペーパーレス化について
8月16日(水)	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ヒヤリハット・事故報告について ・ご利用者について ・検食について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のエプロンについて ・吸引機について
9月20日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者のエプロンについて ・整容タオルについて ・ヒヤリハット・事故報告について ・ご利用者について
10月18日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者について ・新型コロナウイルスの対応について ・使い捨ておしぼりについて ・身だしなみについて
11月15日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者について ・エチケットシェーバーについて
12月20日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者について ・座面センサー購入について ・インフルエンザの対応について
令和6年 1月17日(水)	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・センサーの見直し ・夜間排泄時間について ・ご利用者について
2月21日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者について ・ご利用者眠前薬の見直しについて ・紙おしぼりについて
3月20日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科ケース検討会議 ・ご利用者について ・食事席の見直しについて ・体交用クッションの取り扱いについて

3F

令和 5 年度は人員確保が困難であり、またご利用者対応を優先し書面開催となる事が多くありました。

事前にサイボウス内にてフロア職員に議題と、その議題に対する意見を出してもらう事により各職員の意見を業務に反映する事ができたと思います。

ご利用者への対応や業務についての課題を挙げ、会議を通して問題を解決していく事でサービスの充実へと結びつくよう努めました。

決定した内容の情報共有を行い、より良いサービスの提供が出来る様職員一人一人が意識し、教務に取り組めたと思います。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和 5 年 4 月 26 日(水)	6 名	<ul style="list-style-type: none">・ 5 月の精神科ケース検討会議について・ ご利用者の誕生日について・ 排泄物品について・ 職員駐車場について・ 物品補充について
令和 5 年 5 月 24 日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none">・ 6 月精神科ケース検討会議について・ ご利用者の排泄物品について
令和 5 年 6 月 28 日 (水)	9 人	<ul style="list-style-type: none">・ 7 月精神科ケース検討会議について・ ご利用者の排泄介助について・ 排泄物品の使用について・ ご利用者の夜間の体動とオムツについて・ 夜勤 B の 18 時排泄介助について・ 日勤リーダー、日勤フリーが不在日の動きについて・ ヒヤリハット、事故報告について
令和 5 年 7 月 26 日 (水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none">・ 8 月精神科ケース検討会議について・ トイレ内のバケツ回収について・ ご利用者の食事用エプロンについて・ 夜間帯のオムツ交換について・ ご利用者のセンサーマットについて・ 検食簿について・ 課題整理総括表の作成方法統一について・ 居室におやつ提供コップの回収について・ ご利用者冷蔵庫の飲み物について・ 職員用冷蔵庫の使用について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット、事故報告について
令和5年 8月23日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・9月精神科ケース検討会議について ・ご利用者の眠りスキャンセンサーについて ・フロア会議の議題について ・事務連絡、指示の入力方法について ・排泄物品について ・昼食後のトイレ誘導について ・サイボウズの使用方法について ・夕食後の排泄について ・サイボウズ内発信の情報伝達について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和5年 9月27日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・10月精神科ケース検討会議について ・排泄時の軟膏塗布について ・精神科ケース検討会議一覧について ・ご利用者の排泄物品について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和5年 10月25日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・11月精神科ケース検討会議について ・「ほのぼの」の指示、連絡事項について ・移乗介助後の車椅子について ・遅番リーダーの動きについて ・センサーの見直しについて ・車椅子の移動介助について ・ご利用者の排泄物品について
令和5年 11月22日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・12月精神科ケース検討会議について ・洗濯場の洗濯済みの物について ・ヒヤリハット、事故報告について
令和5年 12月27日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・1月精神科ケース検討会議について ・夜間のオムツ交換について ・業務内の取り決めについて ・入浴準備について ・汚物処理機にて洗濯済みの衣類について
令和6年 1月24日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・2月精神科ケース検討会議について ・精神科ケース検討会議の対象ご利用者について ・物品倉庫の補充について
令和6年 2月28日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・3月精神科ケース検討会議について ・ご利用者のセンサー使用について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の夜間帯の排泄物品について ・眠前薬について ・ご利用者の軟膏の保管場所について ・スポンジと食器用洗剤の置き場所について ・ご利用者の排泄物品について ・18時の排泄介助について ・遅番のゴミ捨てについて ・朝食時の飲み物の準備について ・ご利用者のバイタル測定と眠前薬について
令和6年 3月27日(水)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・4月精神科ケース検討会議について。 ・夕食の早出しについて ・吸引器の片付けについて

16-23

【厨房会議】

基本作業手順・調理技術・安全衛生・緊急時の対応についての検討を行いました。また新型コロナウイルス感染拡大により、作業分担・内容・勤務時間の予定表を作成し状況を話し合いました。今後の感染症発生時の対応として、食材やディスプレイ食器の準備や緊急時の給食依頼について確認をしました。その他、ヒヤリハット・事故予防・食器の衛生管理方法などの問題点について協議しました。

反省としては、日常の業務の中でも基本作業、手順にバラツキが見られる為、引き続き調理の基本・理論を把握し、調理技術及びサービスの向上に努めていきます。

会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和6年 3月25日	7名	<ul style="list-style-type: none">・緊急時ガス遮断弁解除手順についての確認・各業務担当の見直し・新温冷配膳車の使用方法・その他

16-24

【リハビリ課会議】

『会議開催状況と主な検討事項について』

リハビリ課内にてサイボウズを用いた情報共有ツールの活用や日々の業務内における情報共有が可能であったため、今年度リハビリ会議は実施しておりません。来年度も今年度同様のかたちで情報共有が可能であると考えられます。そのため来年度事業計画よりリハビリ課会議の項目を廃止しております。

17-1

【料理クラブ】

令和5年度は、昨年同様感染予防策を講じた上での開催となりました。

栄養課職員が中心となり、気軽に参加でき利用者の要望が多かったメニューを取り入れました。活動は、作業手順を説明し職員の見守りの中、自分で作った料理を食べ喜びを実感して楽しいクラブとなりました。

これからもたくさんの方々方が体験できるよう工夫した内容で進めていきます。

クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和5年 7月31日	利用者 2階 3名 3階 3名 職員 3名	テーマ『フレンチトースト』
令和6年 1月31日	利用者 2階 2名 3階 2名 職員 3名	テーマ『チョコレートケーキ』

17-2

【フロア装飾】

年度前半は、手が空いた時間を有効活用しフロア装飾を製作しました。限られた短い時間を利用しているため数日掛かり作業が中々進まない状態でした

前年度と比べ利用者様と作成する時間が少なく完成させる事が出来ない状況にあります。また、2月、3月と業務の都合により作成する事が出来ず、例年と違い、職員の手による作品となりました。

クラブ活動実施状況

実施日	活動内容
令和5年4月	桜やタンポポの飾りを作成・装飾する。
5月	カーネーションで花束を作成・写真撮影をする。
6月	紫陽花の装飾を作成・装飾する。
7月	向日葵や紫陽花を作成・装飾する。
8月	向日葵や紫陽花を作成・装飾する。
9月	菖蒲や柿を作成・装飾する。
10月	ハロウィンの装飾を作成・装飾する。

11月	クリスマスに向けてツリーやサンタクロース等の作成を行う。
12月	引き続きクリスマスに向けて作成、装飾を行う。
令和6年1月	新年の飾り付けやカレンダーの作成、装飾を行う。
2月	業務の都合上行えなかった。
3月	業務の都合上行えなかった。

17-3

【華道クラブ】

第2、第4日曜日午後から行われるホーム喫茶のテーブルに置く卓上花をホーム喫茶当日にご利用者に思い思いに生けていただいています。

今年度も昨年度に引き続き感染症対策を行いながら進めていく形となりました。第2日曜日に2階ご利用者、第4日曜日に3階ご利用者と分けることでご利用者自身が関わって満足でき、達成感を味わえるよう支援しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止せざるを得ない時期がありご利用者には多くの制限の中での生活となりました。花があることでご利用者の心が晴れるということに改めて感じました。

活動においては花を通してご利用者同士、職員と会話をしながら楽しい時間を過ごされました。ホーム喫茶後は、各階の食堂に卓上花として飾っています。

季節に応じて各フロアの食堂のテーブルに卓上花として生け、季節を感じられるクラブ活動でした。

クラブ活動実施状況

実施日	フロア	参加人数	活動内容
令和5年 4月9日(日)	2階	5名	季節の花：スタンダードカーネーション(オレンジ)、フリージア(黄)、ユリ(黄)、アリストロメリア(白)、ガーベラ(ピンク)、セイヨウトラノオ(紫) の花を生け、ホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
4月23日(日)	3階	6名	季節の花：スプレーカーネーション(ピンク、白)、ガーベラ(オレンジ)、バラ(黄)、スターチス(紫)、ルスカス(グリーン)の花を生け、ホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
5月7日(日)	2階	6名	季節の花：スプレーカーネーション(あかむらさき)、ポリシャス(葉)、ソリダコ、スタンダードカーネーション(ピンクパープル色)、スターチス

			(紫)、 アルストロメリア (白にピンクの縁) の花を生けて ホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
5月28日(日)	3階	6名	季節の花: バラ (ピンクの縁)、ユリ (ピンクの 縁)、ソリダコ、ひまわり、ヒペリカム (赤い実)、 カスミソウ (白)、ガーベラ (オレンジ) アストラ ンティア の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く
6月11日(日)	2階	8名	季節の花: スタンダードカーネーション (赤)、スプ レーカーネーション (ピンク)、ソリダコ、ヒメヒマ ワリ (黄色)、ヒペリカム (緑の実)、ガーベラ (オ レンジ) の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂 く。
6月25日(日)	3階	6名	季節の花: スプレーカーネーション (クリーム色)、 キキョウ (紫)、ソリダコ、ガーベラ (ピンク)、デ ルフィニウム (青)、ルスカスの花を生けてホーム喫 茶で飾り楽しんで頂く。
7月 日(日)	2階	—	業務の都合の為、中止する
7月 日(日)	3階	—	業務の都合の為、中止する
8月13日(日)	2階	5名	季節の花: スタンダードカーネーション (肌色)、ガ ーベラ (赤)、リンドウ (紺色)、リモニユーム (黄)、葉 (ドリセナ、セローム) の花を生けてホー ム喫茶で飾り楽しんで頂く。
8月27日(日)	3階	5名	季節の花: スタンダードカーネーション (肌色)、ガ ーベラ (赤)、リンドウ (紺色)、リモニユーム (黄)、葉 (ドリセナ、セローム) の花を生けてホー ム喫茶で飾り楽しんで頂く。
9月10日(日)	2階	—	業務の都合の為、中止する
9月24日(日)	3階	6名	花材: スタンダードカーネーション (黄色)、スプ レーカーネーション (赤)、段菊 (ピンク)、ヒペリカ ム (赤い実)、ソリダコ、キリン草の花を生けてホー ム喫茶で飾り楽しんで頂く。
10月1日(日)	2階	7名	花材: スタンダードカーネーション (黄色)、コスモ ス (赤紫、薄紫)、ワスレナグサ (薄紫)、リンドウ (青)、グリーンの花を生けてホーム喫茶で飾り楽し んで頂く。

10月22日(日)		3名	花材：スタンダードカーネーション(桃色)、バラ(赤)、スターチス(黄色)の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
11月13日(日)	2階	7名	花材：スタンダードカーネーション(薄緑)、ユリ(薄緑)、ガーベラ(ピンク)、アリストロメリア(黄色)、ストック(ピンク) 白い花、紫の花、黄色いポンポン の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
11月26日(日)	3階	4名	花材：スタンダードカーネーション(ピンク)、フリージア(黄色)、ガーベラ(オレンジ)、カモミールの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
12月10日(日)	2階	5名	花材：スタンダードカーネーション(赤)、アリストロメリア(ピンク)、ガーベラ(黄色)、ブルースター(水色)、アストランティア(白紫) スイートピーの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
12月24日(日)	3階	5名	花材：バラ(赤)、カーネーション(ピンク)、ユリ(オレンジ)、チューリップ(赤)、スターチス(白)、黄色い花、水色の花の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
令和6年 1月14日(日)	2階	11名	花材：ストック(ピンク)、カーネーション(赤)、カスミソウ(白)、ヒペカリウム(ピンクの実)、ガーベラ(黄色)、赤いポンポンの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
1月27日(日)	3階	7名	花材：スタンダードカーネーション(橙)、ガーベラ(橙、赤、黄、ピンク)、スターチス(黄) マーガレット(白)、ピンクの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
2月11日(日)	2階	9名	花材：バラ(赤)、スイートピー(ピンク、オレンジ、紫、水色)、ナンキュラス(黄色)、ガーベラ(赤)、白い花、紫の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
2月25日(日)	3階	7名	花材：スタンダードカーネーション(橙)、ガーベラ(橙、赤、黄、ピンク)、スターチス(黄) マーガレット(白)、ピンクの花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
3月10日(日)	2階	8名	花材：スプレーカーネーション(ピンク)、ブルース

			ター（水色）、ソリダコ、ヒペカリウム（緑の実）、菜の花（黄色）、スイートピー（ピンク）の花を生けてホーム喫茶で飾り楽しんで頂く。
3月24日（日）			業務都合の為、中止する。
延べ参加人数		125名	

17-4

【ボッチャクラブ】

高齢者や障がいを持つ方でも一緒に楽しめるスポーツとしてパラリンピック競技にもなったボッチャをご利用者同士の交流の場所として実施してきました。

ボッチャクラブは当初地域の方々を受入れご利用者との交流の場所として発足しましたが新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し地域の方々の受入れはできない状況でした。

苑内でのご利用者の QOL 向上身体機能の維持向上を目的にボッチャを実施し夏祭りにおいてはボッチャクラブでの活動を生かしたボッチャボーリングを実施しご利用者に楽しんでいただきました。

今後は社会情勢を見据えて施設として地域の方の受け入れが可能になった際には地域交流の場としてもボッチャクラブを展開していきます。

○活動実績

実施日	参加人数	活 動 内 容
4月7日（金） 15：15～16：30	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
4月21日（金） 15：15～16：30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
4月28日（金） 15：15～16：30	11名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月5日（金） 15：15～16：30	13名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月12日（金） 15：15～16：30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月19日（金） 15：15～16：30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
5月26日（金） 15：15～16：30	10名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
6月2日（金） 15：15～16：30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う

6月9日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
6月16日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
6月23日(金) 15:15~16:15	10名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
7月7日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
7月14日(金)	—	感染症予防のため中止
7月28日(金) 15:15~16:15	8名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
8月11日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
8月18日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
9月1日(金) 15:15~16:15	10名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
9月22日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
10月6日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
10月13日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
10月27日(金) 15:15~16:15	10名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
11月3日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
11月10日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
11月17日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
12月1日(金) 15:15~16:00	9名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でポッチャゲームを行う
12月8日(金) 15:15~16:15	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でポッチャゲームを行う

12月15日(金) 15:15~16:00	8名	1多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
12月22日(金) 15:15~16:00	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
2月25日(金) 15:15~16:30	9名	1階多目的ホールで2階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月8日(金) 10:10~11:10	12名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
3月15日(金) 15:15~16:30	8名	1階多目的ホールで3階のご利用者対象でボッチャゲームを行う
参加利用者数延べ		289名

17-5

【えがおクラブ】

「よく食べ、良く寝て、よく笑う。笑う門には福来る」を合言葉に笑うことに特化しインドで27年前に発足した笑いヨガを取り入れえがおクラブを実施しました。

笑うことが心と身体の健康維持に役立つことをお伝えしご利用者の生活の質向上のための活動を行いました。笑うことを体操としてとらえ、またご利用者に馴染みのある歌を合唱することで心の健康を育むという取り組みを行いました。お琴の伴奏を職員が行うことが浸透し苑内行事の文化祭でお琴の演奏を行うことにも繋がりました。

感染症予防策を取り活動ができない時期もありましたが、制限の多い生活の中で参加された利用者の笑顔を取り戻す時間となったのではないかと考えられます。

以前えがおクラブには様々な形でボランティアの方にも協力していただき活動を行ってききましたが、今年度は実施することができませんでした。今後は社会情勢を見据えて施設としてボランティアの受け入れが可能になった際には活動の場として機能できるような活動にしていきます。

○活動実績

実施日	参加人数	活 動 内 容
4月5日(水) 10:00~11:00	10名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
4月19日(水) 10:00~10:50	12名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
5月3日(水) 10:00~10:50	13名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
5月17日(水)	11名	お琴の演奏

10:00~10:50		
6月7日(水) 10:00~11:00	14名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
6月21日(水) 10:00~11:00	11名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
7月5日(水) 10:00~11:00	11名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
8月2日(水) 10:00~11:00	12名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
10月4日(水) 10:00~11:00	11名	実習生と一緒に笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
10月11日(水) 10:00~11:00	12名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
10月25日(水) 10:00~11:00	16名	園芸活動、笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月11日(水) 10:00~11:00	14名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月26日(水) 10:00~11:00	13名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月30日(水) 10:00~11:00	8名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月31日(水) 10:00~11:00	10名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
1月31日(水) 10:00~11:00	15名	笑いヨガ、お琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
2月14日(水) 10:10~11:00	13名	体操とお琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
3月6日(水) 10:00~11:00	11名	体操とお琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
3月20日(水) 10:00~11:00	14名	体操とお琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
3月27日(水) 10:00~11:00	13名	体操とお琴伴奏による太鼓に合わせた合唱等を行う。
参加利用者数延べ		139名

17-6

【ホーム喫茶】

毎月第2・第4日曜日の月2回、14時から1階もしくは各階にて行いました。

ご利用者が季節を感じられる洋菓子や和菓子を複数用意し、その方の食事形態に合ったものを提供していくようにしました。さらにご利用者に選ぶ楽しみを持っていただくためサイドメニューも行いました。

昨年度はコロナウイルス感染拡大のため実施できない期間がありました。実施できた日においても感染予防のための対策を行いどのようにしたら実施できるかを模索しながらの実施となりました。

ホーム喫茶担当の職員がメインとなり各課との連携を図り運営しています。今後ご利用者が美味しいものを召し上がり、ゆったり寛げる時間を提供していきます。

ホーム喫茶活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和5年 4月9日	31名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
4月23日	34名	1階職員食堂で季節の和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
5月7日	31名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
5月28日	36名	1階職員食堂で季節の和菓子を選んで召し上がって頂きました。
6月11日	32名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
6月25日	33名	1階職員食堂で七夕の和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
7月2日	31名	1階職員食堂やすらぎ農園でとれたトウモロコシケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
7月16日	25名	感染対策の為、各フロアにてホーム喫茶を実施する。いなげやとくし丸の担当者が提案するお菓子を提供する
8月13日	32名	1階職員食堂で4種類のケーキとサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
8月27日	29名	1階職員食堂でかき氷とケーキを召し上がって頂きました。
9月10日	30名	新型コロナウイルス感染症対策の為に中止 各回でお菓子をめしあがっていただく

9月24日	33名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
10月1日	31名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
10月22日	28名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
11月12日	32名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。あんまん、肉まんも提供
11月26日	31名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。あんまん、肉まんも提供
12月10日	29名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
12月24日	31名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R6年 1月14日	24名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
1月28日	34名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
2月11日	34名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
2月25日	31名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
3月10日	31名	1階職員食堂でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
3月24日	35名	1階職員食堂で和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。

参加ご利用者 延べ人数 748名

※事業計画上の編み物クラブ、音楽レク、音楽療法は業務都合により実施していません。